京城日報
十八日夕刊 (朝夕刊併せて八頁)

張勳を他に移せ

支那政府は和蘭公使ブロックランド氏に對し要求中なる張勳氏引渡問題今尚解決せざるを以て先決問題として現に支那と敵國關係にある獨逸の兵營に張勳氏を抑留せるは國際法に悖るものなりとの理由に依り他の地點に移轉せしむる事を要求せり(北京特電)

雲南軍大に振ふ

四川方面の形勢切迫し雲南軍は一部隊を以て貴州を衝き其前衛は四川軍を內江縣に破り其主力は綦江方面の貴州軍と合して重慶に肉薄せんとせるが之に對する四川軍は三個師團半を成都、重慶の線に配置せる外李炳之氏の率ふる一個旅團の北軍重慶に著し更に後續部隊の急派を北京政府に督促したり(北京特電)

四川軍形勢不利

自流井方面に於て十四日雲南軍は內江縣を猛烈に攻擊し今や同縣を距る二里の地點迄前進し四川軍を壓迫しつゝあり之が爲め四川軍は第一師、第二師を動員し應援中なり但し行政官憲の發表せる處に依れば一度雲南軍に占領されたる內江縣は十四日奪還し更に雲南軍を追ひ中なりといふも重慶司令部の狼狽と督軍の配置より見て四川軍不利なりと觀察さる(重慶特電)

傳督軍戰死說

湖南督軍傳良佐氏は十七日流彈に中り戰死せりとの報あり(長沙電報)

征蒙軍歸還

曩に奉天五十四旅長張作相氏を司令として吉黑兩省兵と同時に出動中なりし奉天省征蒙軍は現下奉天省の兵力寡少の際とて張督軍の電令に依り十四日夜全部歸還せり(奉天特電)

滿洲領事會議

去る十日以來奉天に於て開催中の滿洲領事會議は滿洲行政統一の目的にて外務本省より廣田書記官、有田領事、關東都督府より宮尾長官、平石高等法院長の列席あり議案は主として土地、教育、作業、領事裁判、警察權、行政權等に關する重要案件なるに依り今回豫定

英機兵器廠爆擊

英國飛行機は獨逸の占領せるシーレー兵器廠を爆擊せり忽ち幾條の火柱立ち上り獨兵戶外に潰散するや我飛行機は低空飛行を試み機關銃を以て彼等を掃射せり敵の死傷夥し(倫敦電報)

ケ氏波艦隊激勵

獨軍が露國に對する死物狂ひの進擊は陸二路より開始せられ十二日より十三日に亙り獨逸艦隊は芬蘭灣の灣口なるダゴ、エゼリ二島に襲擊し來りしが幸ひに露國艦隊は前記二島間の水道より侵入せんとする艦隊を喰止めたるも爲めに二島の一部は獨軍の爲めに占領せられたり此に於てケレンスキー總司令官は波艦隊を激勵し其の苦楚を甞むべき時期の到來したるを告げ露國が同艦隊の勇戰に期待する所大なるを警めたり一方陸上の獨軍はミンスクを距り遙かに莫斯科を窺はんとするの形勢あるに對し露國西南軍司令官亦部下の將士を激勵したり獨逸が海陸同時に二島を侵せる作戰は注意を要す(長春特電)

劉存厚病死說

四川省に於ける北方派の領袖として重きを爲したる陸軍上將劉存厚氏は十四日夜病死したる旨當地某所に入電ありたり(大阪特電)

山本總務一行

政友會總務山本達雄氏及び前代議士小阪順造、長島鷲太郞兩氏は十六日夜來奉前に視察中なる小川代議士と共に十七日張督軍を訪問し馬交涉處議延期の事に決せり因みに佐藤哈爾賓總領事は急用の爲め歸任せり(奉天特電)

石塚氏來奉期

石塚東拓總裁は來る二十二三日頃高瀨理事を伴ひ來奉支店開業の披露宴を張り更に大連に向ふ豫定なるが要件は正金銀行特貸引繼交涉の他ならんと(奉天特電)

露共和議會延期

露西亞共和國臨時議會は十月十八日開會の筈なりしが總理ケレンスキー氏總司令部にて流行性感冒に罹り不在の爲め十月二十日に延期されたり(露都來電)

獨逸宰相更迭說

アムステルダム來電に依れば獨逸外相キユールマン氏は宰相ミハエリス氏の後を襲ひて宰相たるべしとの說ありミハエリス氏は獨帝をリガに訪問せり(倫敦電報)

獨軍エ島占領

公報 倫敦來電=獨軍公報に曰く我軍はエーゼル島の大部分を占領したり露軍は同島のスオルベーヌンに於て聯絡を絕たれつゝ必死となりて抵抗を試みつゝあり東海岸に在りし敵の一部分はノミノーン方面に逃遁せり我軍は俘虜二千四百名大砲三十門飛行機若干を鹵獲せり(上海電報)

獨逸行羊毛沒收

倫敦捕獲審檢所は瑞典陸軍省に宛てたる價額十四萬磅の羊毛を沒收せり右は結局獨逸に送らるとするものなりき中立國の一官省が斯く外國の爲めに使役せらるゝは驚くべし(倫敦電報)

巡查增俸勅令

十八日官報を以て巡查に對する三圓乃至五圓の增俸に關する勅令を發布せり(東京電報)

山本大將後備

海軍大將山本權兵衞氏は十五日付後備役に編入されたり(東京特電)

三品株式市場大瓦落

大阪三品及び株式市場共に大瓦落を演じ大手筋に重傷者多く破產に瀕せるものあり各銀行も警戒的態度を執り居れり(大阪特電)

中村都督通過

中村關東都督は小川副官、栗山屬を隨へ十八日午前六時十分京城より著釜同四十分關釜連絡船壹岐丸にて東上せり(釜山特電)

東鄕中將晉州著

鎭海要港司令官東鄕海軍中將は十八日晉州に來著せり(晉州特電)

大隈氏一行著壤

大隈信常氏一行は午前四時著壤府尹の案內にて名所戰蹟を視察し正午牡丹臺に於ける官民有志者の午餐會に臨み午後四時滿洲に向ふ(平壤特電)

▲奉天通過 大隈信常氏一行六名十八日朝奉天著午前九時五分發列車にて大連に向へり(奉天特電)

久保京管局長

久保滿鐵京城管理局長は中村關東都督見送りの爲め十八日朝來釜午後十一時發列車にて歸京すべし(釜山電話)

藤原正文氏著釜

支那交通銀行顧問藤原正文氏は十八日午前六時十分城より著釜妹婿森慶尙農工銀行支店長宅に一二日間滯在の後東上の豫定(釜山特電)

滿鐵營業課長

滿鐵營業課長安東又三郞氏は十八日朝入港の關釜連絡船高麗丸にて著釜午前十時三十分發列車にて赴任(釜山電話)

牟田口氏大邱著

朝鮮輕便鐵道會社長牟田口元學氏は十七日午後一時十八分著列車にて著邱唯一旅館に入れり今回は來るべき議會前迄朝鮮に滯在すべしと(大邱電報)

日淸生命社長

日淸生命保險株式會社取締役田中唯一郞氏は十六日午後七時著列車にて來釜十七日午前六時四十分出港さくら丸にて歸東の途に就けり(釜山特電)

靑島より

釋尾旭邦

(十月十四日)

無佛居士及び目池君足下、余は去七日京城發數日間奉天に滯在大連を經て昨日當地に參り候、實は奉天より北京を經て南支那に出で度き心組の處、京漢線今尙ほ不通にて切符を賣らず、天津濟南間も所々線路に故障ありとの事なりしを以て大連經由北支那に向ふ運を取り候、釋宗演師も北京より引き返し來り順路を取り宛も同船にて靑島に著致候、安奉沿線の秋色は今が昨め時に候、滿洲各地は年は既に高粱大豆刈り盡され穫々たる大平原の大觀に接するを得ざりしは遺憾を覺え候、昨年の頃はまだ滿洲の大平野に高粱大豆實り居りしに本年は既に其影を失ひしは九月頃一時嚴霜襲ひしを以て斯くも早く刈盡されしと思はれ候、併し本年も可なりの收穫と申居り候、奉天大連、他滿洲各地何れも好景氣に候、殊に各種新事業起り今は各階級の視察者も盛に入り込み何れの地も宿屋は滿員の姿に候、小生は年々滿洲に參り候も本年位滿洲各地の好景氣を見たるは初めてに候、是れ內地好景氣の影響と存候、銀相場の暴騰は輸出商には打擊なるも輸入商には多き由にて爲め儲けしもの相當に多き由に候、一時銀相場は日貨一圓に對し銀の支那貨一圓五十錢以上に暴騰せしが目下は一圓廿五錢位に相場成候、併し此銀相場暴騰の爲め滿洲各地の物貨は非常に暴騰し宿料の如き平生よりは三割以上高く寄者には不便に御座候、佛居士足下、靑島は何時來ても心地の善き土地に候、余は先年春にて民政部に居る舊知板本君の案內で靑島を一週間して遊び候、其山は依然として靑く、其水は依然として淸く、其氣候は依然として快適、其風光は依然として絕佳に候、態々遊びに來ても善き地に候、三年前參りし時よりも日本人大に增し、目下一萬五千以上に候、市中も益々充實整頓致し三年前とは大に面目を一新致し快心に候、靑島は一時盛なりし爲め相當市中の經界を賑はし此地亦好景氣に候、併し目下は靑錢も殆ど影を沒したる由にて此方面に活躍して相當成功せし人々の樣子に候、秋山民政長官、中野民政署長等もくしぶりに相語り何れも健在にて土地の評判も宜ろしく心嬉しく存候、尙此地に京城にての舊知の女二三人に會せしは旅途中の慰みと相成候、但し此間の消息は漏すべからずに候、小生是より濟南に出で曲阜に孔子の遺跡を訪ひ津浦線に依つて揚子江の沿岸に出づべく本月末迄には歸京致度旅行を急ぎ居候、先は早々。

總督歸還す

南鮮地方巡察中なりし長谷川總督は十八日も午前は前日と引續き淸州附近に於ける四十旅團の演習を觀覽し午後零時四十分自動車を驅つて淸州發同一時三十分鳥致院著同處より自動車を捨て午後一時四十分同驛發臨時列車に搭乘し同四時二十分南大門驛著歸邸したり

四斗叺の効果

積載試驗極めて良好

移出檢查米の包裝が四斗叺に限定せられたるは既記の通りなるが過般釜山穀物市場に在りては四斗叺を用ゐ山驛に於て鐵道貨物係員立會の上積載量の試驗を行ひたるに積載量、石數に於て五斗容のものよりも多量となり且つ運搬上並に取扱上に於ても至極簡易にして鐵道局はじめ一般の利益大なるものあるを可きを確め茲に釜山商人の多年の希望も貫徹し一般に於ても非常に滿足する處となれりと、今其の積載量を示せば左の如し

一、二十六噸有蓋車(一五八六立方)從來大豆五斗入の積載量三百九俵(此の石數百五十四石五斗)四斗叺に四斗入りのもの同四百五十俵(此の石數百八十石)
備考 橫四叺高五叺積とし其上に五叺を置く即ち一列二十五叺にして十八列

二、二十六噸積無蓋貨車(三八三立方)從來大豆五斗入の積載量三百九俵(此の石數百五十四石五斗)四斗叺に四斗入りのもの同四百四十五俵(此の石數百七十八石)
備考 橫四叺高五叺積とし其上に三叺と二叺を置き二十叺は十八列五叺は十七列とす

其の差額
一、前者 二十五石五斗增
二、後者 二十三石五斗增

各銀行の利上

內地大銀行の預金利子引上に伴ふ朝鮮銀行の利上問題は目下同行幹部間に於て調查凝議を進め居り未だ重役會議に附する迄に到らざるも近々其の運びとなるべく多分十一月一日より實行するに至らん又內地銀行の支店たる第一、十八、百三十の各銀行は何れも本府の利上決行を見たる後之を行ふべく目下研究中なるが多分其の態度は鮮銀の利上發表後に至らざれば決定を見難からん更に地方銀行並に京城の本店銀行は鮮銀の決定後定期は五厘方當座は一厘乃至二厘方上位に定むべき模樣なり

朝郵配當一割

朝鮮郵船會社にては來る三十日株主總會を開き大正六年度上半期決算を附議する由なるが當期の成績は前期より若干良好なるも其の配當は前同樣年一割ならんと

合資會社許可

京城南大門通り二丁目南方半次郞氏の出願に係る京城金物合資會社設立の件は今回官廳より許可の指令ありたり同社は前記の個所に本店を設け三萬圓の資本を以て洋鐵鋼材金屬機械工具品其の他一般工業用品の賣買並に代理業を營むものにして無限責任社員は南方氏一人なり

業務進展

石塚東拓總裁談

十七日夜歸京せし石塚東拓總裁の談片に曰く

▲業務複雜 東拓の業務は銀行の如く比較的單一ならず頗る複雜し其の關係する所多端なるを以て均しく一地方に發展するも諸種の問題を惹起し交涉研究に日を費やす事多し東京滯在中の如き對政府の交涉各方面への披露債券發行其他の要務輻輳し容易に其の離任を許さず豫定より遲延して東京を發したる次第なり

▲北京行き 予は高瀨理事同行二十一日若くは廿二日京城出發奉天及び大連の兩地を訪ひ更に北京に向ふ考へなり最初は北京より靑島に下り歸鮮したしとの考へを抱きゐたるも津浦地方の水害に依り汽車不通の由に付靑島巡りは次回に延ばすの外なかるべき乎尙ほ歸東の途次京城には約半箇月滯在各方面に對して訣別の挨拶をなす筈なり

▲資金先づ充備 會社も十月一日より東拓改正法により本社を東京に移し京城支店並に奉天大連兩支店の新設を行なひ根幹となるべき羽翼は先づ張りたる譯なり又客月鮮銀より引受に係る東拓債券一千萬圓を發行し會社當座の活動資金は充備したるが之れ唯當座のみ今後業務の發展に伴ない資金の必要を生じ來るべく市場の狀勢により其の準備をなさざる可らざるべし

▲特貸授受 正金銀行の滿洲に於ける特貸乃ち不動產金融の債權及び其他の權利を東拓に引繼ぎを受くる件は東京に於て正金幹部との間に交涉し大體の協商は終了せり今後滿洲に於て其の細目を打合せ順次事實上の引繼ぎを行ふ事となり居れり

奉天鮮銀會議了

奉天に於ける朝鮮銀行滿洲各支店長會議は十八日を以て終了に付本店より出席せし阿部營業局長は十九日夜若くは二十日歸京すべしと

米國鋼鐵輸出決定

日本船轉用代償

米國は目下日本にて建造中なる五十隻の貨物船(總噸數約四十萬噸)を聯合國の軍需品輸送用に供する條件の下に右船舶完成に必要なる鋼材十五萬噸の輸出を許可すべしと(紐育電報)

▲鋼鐵相場引下 戰時殖產委員會と鋼鐵製造業者との間に鋼鐵最高價格を現在價格より約三分の一減額することを協定したるに對し大統領は之れを承認せり(紐育電報)

東拓重役入京

東拓改正法實施以前より東京にありたる總裁石塚英藏、奉天駐在理事高瀨梅吉の兩氏は十四日東京發途中大阪に下車して要用を果し十七日午後九時南大門驛著列車にて入京石塚氏は永樂町社宅に高瀨理事は朝鮮ホテルに入り數日滯在の筈

中村都督出發

十六日入京したる中村關東都督は十七日京城市內及び近郊を見物し又た同日正午より山縣政務總監の招待に係る午餐會に臨みたる上豫定の如く同日午後七時五十分南大門驛發列車に搭乘內地に向へり

長岡中將退京

滯京中なりし長岡中將は十八日朝八大田驛發汽車にて退京北行せり氏は開城に下車し同地一泊の上平壤に赴く由なり南大門驛には山縣政務總監はじめ多數の見送りあり

丸橋大佐動靜

水路部測量課長海軍大佐丸橋彥三郞氏は十六日夜鎭海より入京十七日は本年度に於て施行すべき仁川附近及び大同江附近の測量事業に關し參屋武官と會見打合はす處ありしが十八日朝仁川に向け出發せり氏は更に鎭海に赴き實地踏查の上歸京す可しと

亥角內務部長著任

去る十日京城を出發したる新任鳥取縣內務部長亥角仲藏氏は十六日夜七時著任したりと

高野三井店長向阪

三井物產京城支店長高野省三氏は十八日午前八時三十分南大門驛發列車にて大阪に向へり月末歸京の筈

三本氏發期

鮮鐵營業課長より大連本社に轉せし三本武重氏は昨今各方面を訣別の挨拶中なるが多分廿二日朝出發單身赴任す

韓專務邸晚餐會

漢城銀行專務韓相龍氏は十七日午後六時半自邸に宇佐川中將を主賓とし古賀務總長、釜屋武官、前田憲兵大佐、靑木農務課長、趙重應子李秉武子等を招待晚餐會を開けり

人

▲朝鮮銀行員一行百九十二名 十七日朝鎭へ即日歸京
▲京城駐在米國總領事 十七日午後天安より歸京
▲京城高等普通學校職員生徒五十七名 十八日午前安東方面より歸京
▲川上東拓理事一行三名 十八日午前仁川へ
▲吉田榮三郞氏(臺灣總督府事務官) 十八日午前入京
▲稻本源次氏(大阪倫敦特派員) 十八日午前退京北行
▲平壤公立農業學校職員生徒二十六名 十七日午後水原へ
▲京城教員養成所生徒三十五名 十七日午前東京へ修學旅行
▲中村辰五郞氏(中村組) 十七日鎭南浦へ
▲長谷川義雄氏(西鮮日報社長)▲同常三郞氏(元山每日社長) 十七日退京
▲長野虎太郞氏(木浦新報主幹) 十八日退京
▲東京金剛山遊覽團一行二十四名 十八日朝入京大漢門前巴城館へ分宿

彼れ此れ

○四川の劉存厚、突如死去を傳ふ。北京政府の得意思ふべし。南方派の果して、南討の實現如何。吳光新と唐繼堯と、雌雄を決するの時ありや否や。

○獨軍水陸。露都を窺ふとの報あり。脆弱なる砲臺に、後事を託して退去せる北部露軍は、今にして擧ろ、獨軍來攻の遲かりしを思ふべし。獨軍にして、單に露都威嚇に過ぎずとなすも、威嚇せられて、驅破する能はずんば、驅逐せらるゝの外途なかるべし。露軍若しはずんば、最早無益、如何とも詮術なし。

○能く働く者に對して、能く遊ぶと云ふ事は、切り放つべからざる條件也。吾等は此京城神社大祭に際して、諸君の大に愉快に、大に遊ばん事を希望する者也。而して其の遊ぶと云ふ事の裡面には、働くと云ふ事の伏在する事は、忘るべからざる條件たり。

▲廣告▼

自動車運轉手

自動車界は益々有望、運轉手と雖も月收六七十圓多きは百圓以上(海外二百弗)其多大なる收獲は實に高等學府を出るも及ばざる也本校は自動車及修繕製作技師の養成と同時に自動車附屬品の鑑識購買等專業的方面之智識を短日容易に其奥を究めしむ又別に通信教授の制を設け巧に同一の課程を授く本校は自動車界に密接の聯絡あり徒手空拳都會に海外に雄飛を望む者既に職業の選擇を誤りて煩悶せる者子弟の幸福を思ふ父兄等に對し滿足なる解結を與へ提供に努む富成功の進路を開かしむ新學期始十一月一日入學の好機逸する勿れ申込至急校則送與

東京市京橋區 私立認可 自動車學校

秋季號

園藝カタログ

▲無代進呈(郵券三錢にて御申越あれ)
▲季節の花園を飾り春の家庭を賑はす爲めに例によりて園藝カタログ秋季號を發行しました、花卉蔬菜の種子苗類一切を網羅し正確にして發芽力の旺盛なる者を廉價に提供して居ます、全篇美麗なる色刷版にて形を示し親切なる培養法も記して有ります、素人にも玄人にも必要缺くべからざるものです一刻も早く往復葉書にて御申越あれ直ちに發送致します

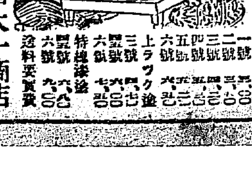
東京京橋區日吉町 國民新聞勸業部

京城太平町二丁目 京城日報代理部 電話六六〇番・振替三〇〇番

購買 龍山 陸軍倉庫 精米、玄米 詳細ハ十月十九日以降ノ朝鮮官報ニアリ

鐵 鋼材 浪板、平板 針金、洋釘 新田帝革總代理店 ペイント、油類一切 コークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シャブル 帶革、ロープ 機械、工具 附屬品 白神洋行 京城

鬪球盤



紳士も奥樣も學生も高尙で面白い室內遊戲はコレ

發賣元 東京馬喰町三丁目 電話浪花三六八四 大一商店
賣捌代理店 京城本町一丁目 サクラ屋

秋祭り一日

轟鳴る御所車の轍に賑ふ市中

▽御旅所へ

龍山の賑ひ

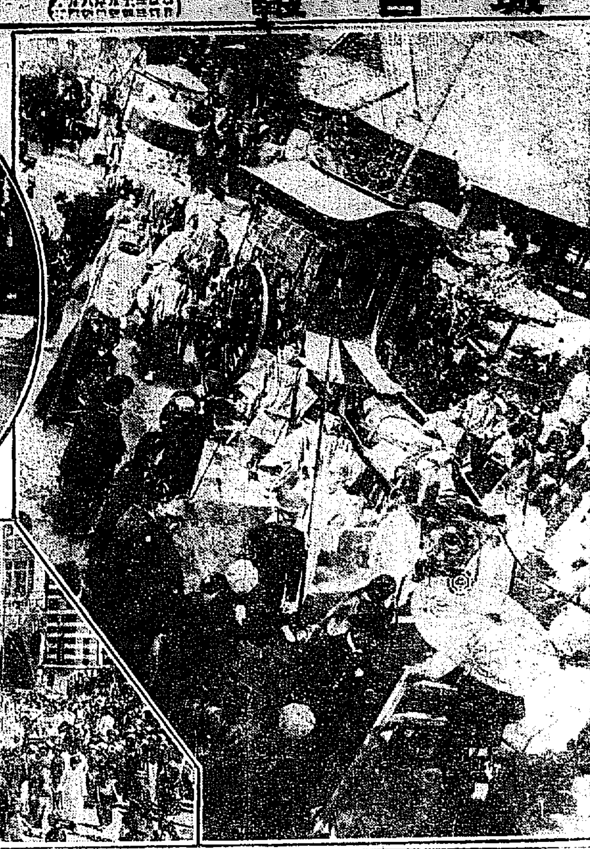
◆各町競うて趣向を凝らし催物に意匠を凝す

京城神社大祭は十七日午前八時三十分より執行せられ午前九時鳳輦發幸

▽既報の順序にて市中の神幸をなしたるが本年は例年と異り鳳輦を新調したること又氏子連が費用を惜まず盛大になさんとの趣意にて催したる事とて各町競爭の姿にて催物に意匠を凝らし別項の如く各町とも立派なる催しをなすに至りたり

▽鳳輦の神幸は午前九時南山京城神社を出で總督官邸、日出町、大和町、新町、本町通、南大門通、御成町を經て龍山に向ひ古市町、青葉町、元町、旭橋通、榮町、龍山橋通より御旅所に入りたるは午後四時三十分なりし本年は例年の如く神輿に非ざる爲め神幸の路順意外に早く豫定の時刻に御旅所に到着することを得たり龍山榮町にては

▽神輿を出し子供連數十名之を擔ぎ又た祇園囃の屋台を設け龍山住友生花會にては山本酒店に小野道風の造物をなしたり又た龍山御旅所にては間斷なく煙花を打揚げ博多二輪加、素人角力等の催し物あり深更まで龍山市中は一般に賑ひたり



◆祭りの賑ひ

左上京城神社の神輿移御祭▲同下京城郵便局前廣場著の雜沓▲右上鳳輦發幸總督府前通りを過ぐる所（以上十七日所見）

▽市中雜踏

◆餘興の行列と人波で身動きもならぬ

□夜の本町筋□

神輿から御所車に續つた今年のお祭りは威勢よく市中を揉んで行く消防夫のワッショイ〳〵の練聲が聞かれなくなつて物淋しくなつた嫌ひがないでもなかつたが

◆その代り　天神記芝居に現はれるその昔の時平大臣が乘つて歩いたやうな御所車が逞ましい赤牛に曳かれて轔轔と響く轍の音高らかに鳴り渡らせながら靜々と練つて行くところは壯觀であつたため、行列の通る道筋は例年にも増して非常の人出で

◆各辻々に　人垣を築いたのは勿論だつたが、參拜の人は何れも有難さうに拜觀してゐた、新町へ著くと廓內一帶は素より隣近の參詣多く唐櫃の賽箱には賽錢の雨が降るやうであつた、本町通りは實に

◆身動きも　出來ぬ雜沓であつたがそれでも神輿とは違つて滯りなく進んだ結果途中休憩の時間と共に一時間で郵便局前の廣場に著いたのは大分早かつた、南大門驛までお供をした京城の

◆氏子連中　は此處で行列と別れ餘興の三券藝者連中は夕景近くまで、その他各町內の催し物は夜に入るまで囃し太鼓で市內を縱横無盡に練り歩いたので宵の內から漢陽公園の上に打揚る煙火に

◆喫られて　出て來る人は非常に多く、本町筋は近來にない雜沓を呈し新町の餘興の博多仁輪加、新派劇などの見物も非常に多かつた

▽行列賑かに

□鳳輦　龍山御發幸　供奉員一同は本社樓上及び構內休憩所で晝食

京城神社秋季大祭第三日は前日と同じく朝の程から秋晏朗らかに晴れ渡つて誂らへ向きのお祭り日和きのふ十七日の夕景

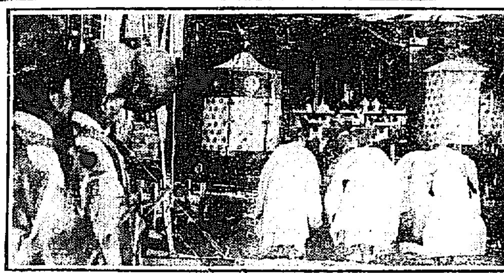
□新舊龍山□　を境する文平山下の御假舍に一夜を明された神輿は齋主齋員以下諸員參列の下に嚴かに行はれた御旅所祭の終了と同時に十八日午前九時鳳輦に移御、奏樂隊につれて打揚がる煙火を合圖に三角地へ向けて御旅所御發幸三角通りから

□漢江通り□　を過ぎて鐵道官舍を縱行、それから鐵道公園に沿うて今年はじめて通ることゝなつた總督官邸前、陸軍官舍內を進んで柳町に出で更に三角地を經て漢江通り、岡崎町、古市町、吉野町等を一直線に南大門驛前に到れば此處には京城側から三券藝妓連中五十餘名の

□女仕丁姿□　美しく著飾つて二見ケ浦の山車を圍んだのや料理屋組合取締以下組合員一同が法被股引の若い衆姿に扮したのや、南山二丁目自志連の山車や、妓生及び妓生組合員百十餘名などと共に京城氏子の各總代が悉く驛前に出迎へ、龍山の有志は

□此處から□　別れて引返した、行列は新たに加はつた京城側多數の供奉者が加はつて、見物の垣を築く南大門通り太平通りを進んで京城日報社前廣場の御休憩所に著いたのは一時十分、豫定の時刻から

□約一時間　十分遅れたのは鐵道官舍陸軍官舍を廻つたためであつた、供奉員一同は本社樓上及び構內に設けた休憩所で晝食を喫し二時十分、黄金町に向けて發幸した



龍山御旅所祭

▽夥しい人波

本社前の盛觀

今年から常設的のお旅所になつた龍山文平山下のお假屋附近は角力や仁輪加等で

□前夜　から大賑ひであつたが神輿御假泊の一夜明けて十八日となると八時から嚴肅な御旅所祭が行はれて、京城側から衣冠束帶に

□威儀　を繕ろつた秋吉富太郎老をはじめ各委員總代龍山有志の參拜引きもきらぬ中に漸くその他の普通學校及び朝鮮人の私立學校生徒が各教師に引率されて

□參拜　したのは特に眼を惹いた、御旅所を出て漢江通りを過ぎ今年から通る事になつた鐵道から陸軍の官舍內に入るとはじめて神幸を迎へる事とて

□沿道　は參拜多く賑はつた、南大門驛から龍山の氏子連中が供奉を辭して太平通りを本社前に來ると此處に行列を觀ようとして集まつた人は夥しいもので、本町二丁目連中の屋台囃しをはじめ

□各町　の餘興隊のことから行列に隨く者も大分あつて大賑ひだつた

◉品川沖に不知火

十七日午後七時頃突然品川沖一面に不知火現はれ海上一面光の海と化し壯觀を極む凶變の前兆に非らずやと附近住民は氣遣ひ居れり（東京電報）

◉中央線不通

中央線須原、上松間は豪雨の爲め線路崩壞し十七日より汽車不通となれり（大阪特電）

◉堰止工事から村民形勢不穩

大阪府下神崎川上流淀川大塚の決潰堤防堰止め工事意の如くならず當局は手古摺り居れるが西成郡及び同川流域一帶の村民不穩の形勢あり（大阪特電）

◉被害民三百名瀬田川に殺到

滋賀縣稻田川浸水被害民三百名は瀬田川の洗堰に殺到し堰渠を若干の面前に抜去るべしと強要し居れるが内務省土木局大阪出張所長古木工學博士は大阪府下淀川下流堰止め工事終了せざる中は斷じて要求を容れずと云ひ居れり（大阪特電）

◉中尉の窃盜

鳥取步兵第四十聯隊第九中隊中尉高田部一（三四）は週番勤務中中隊長の机の抽出に納れありたる金百餘圓を窃取したること發覺し軍法會議に送られたり同人の生家は資産家なるのみならず平素金錢を濫費せし形跡無ければ多分盜癖ならん（鳥取電報）

◉阪神を荒せる僞巡査捕はる

巡査の制服を著用して大阪神戸を荒し廻はりたる僞巡査神奈川縣浦賀永島富之助（四六）長野縣下埴科郡東條村岡澤德太郎（四九）の兩人は京都にて逮捕されたり（大阪特電）

◉小學生徒同盟休校

長崎縣北松浦郡吉井小學校長横山文太郎氏は肺結核に罹り居れる疑あり兒童に傳染する虞れありとて生徒二百五十名同盟休校を爲せり（長崎電報）

◉カンサス市の大火災

畜燒死慘狀目も當てられず出火の原因は今尚不明なり（桑港電報）

カンサス來電＝カンサス市の大牢並に米國第二と稱せらるゝ大家畜飼育所燒失せり數千頭の家畜燒死慘狀目も當てられず出火の原因は今尚不明なり

◉秋季消防點檢

京城府內秋季消防點檢は來る二十日午後一時龍山練兵場に於て左記次第に依り擧行すべし

▲集合　本町警察署長警務部長及び龍山憲兵分隊下士、消防主任巡査又は上等兵及び所轄消防を警務部消防係部長は留守警備隊を除き以外の常備隊を引率し當日正午迄に點檢場に參集係員の指揮に從ひ整列す

▲點檢　午後一時警務部長指揮官の巡視より人員器具の報告ありたる後各隊署長を隨へ右翼より列員及び器具を巡檢し脅位に復す

▲演習　一消防隊、組操練、二蒸汽喞筒、手動機喞筒、水管自動車、水管馬車操法比較、三消防車輛運動、四救助梯子使用的あり

▲鹽澤部長訓示　ありて餘興に移り三時三十分解散の豫定なるが尚當日は總監部、道廳、府協議員、學校組合議員、師團司令部等の重なる者に招待狀を發せりと

◉鎌の上に投ろ

京畿道楊州郡九里面四老里朴範楠（二）は十月八日附近の鮮童と草刈り中相撲をなして鎌の上に倒れ右顱頂部に負傷し多量の出血の爲め間もなく絶命せり

◉狂犬

十四日午後三時頃京城郵便局構內に一頭の狂犬らしきが暴れ込みたるより巡査が取押へ本町署に繫留し獸醫鑑定の結果十八日狂犬と確定せり

◉電車脫線

十七日午前八時三十分頃京城電氣株式會社の龍山發東大門行七十八號電車が古市町內國通運會社前にて脫線し應急工事を施し同十時より運轉せり

◉小刀で脅迫

慶南宜寧郡鳳德面中洞吉田庄吉方同居鍛冶工岩手作太郎（三七）は外一名の鮮人と共に九月三十日宜寧邑より四里許りなる路上にて雜貨行商中玉東（二六）を捕へ小刀にて脅迫して現金三十七圓餘及び其の他を強奪逃走したるが作太郎は間もなく宜寧署の手に逮捕さる

讀者文藝（一等に五十錢郵券を呈す）

△俗謠『狩』

○可笑しい山狩はぐれた友を呼べば山彦眞似をする（一等）　利川　ふの字

▲長居も嫌いたしお酒も買ふた狩の夫を待つ夕べ　仁川　耶路　花香

▲宵居ばあの谷山で狩の遊びが結ぶ縁　利川　花翁

▲旅はいとしや狩衣つけて野山路に消えてゆく　三河屋　關口　曉竹

▲狩の歸りた門出に捨てば犬も機嫌で絡み付く　利川　守子

◉鐵路管內掃除　京城鐵路管內掃除は十九日より施行其日割左の如し

▲二十三日　貫鐵洞、清進洞、堅志洞、公平洞、壽松洞、韓洞、鐘路一丁目、中部洞、東大門通一丁目

◉連絡船上客　十六日午前九時十分釜山入港高麗丸一二等客

□募集規程　用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事

天氣　くもり　曇り一時晴れ（十八日午後六時發表）

十月十八日　日出　六時四十分　日沒　五時五十二分

商況

東京公債直取引

深川正米特電

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

◉銀塊更に低落

倫敦銀塊相場十七日の入電は四十三片四分の一にて十五日に比し更に四分の一方低落せり

◉三品小高し

二十八日前場先限二百三十一圓八十五錢と休日前より二圓高

◉現物七圓九十錢！三銘先物八圓丁度

◉休會中の株氣配

◉閑散に取引至極

◉四五圓安を示せり

◉内地製粉不勢

◉輸出約定品は逆輸出の豫想

◉南洋香港方面へ新規の輸出商談の成立

◉正米徐々軟化

◉外の低落より漸く四十丁內

◉苛性曹達不振

◉容易に望難き相場の急落

◉餘裕ありて內地逆送

◉大豆引締まる

◉方昂騰三四十錢

◉値上後の清酒

◉蒟蒻粉高保合

下關相場

南大門の廻穀

各地商況

仁川期米

▲十八日前場（保合）

仁川米豆取引所

十八日の十二月限

生魚市場

▲釜山水產市場

◉大阪天候　晴

◉大阪六節五十二錢と安入電

◉保合下遊る

市場雰聞

▲期米目先觀

▲新穀の狀態

▲休日越不動

◉當限平買を續行し大阪との値鞘益縮少し小相場を繰返すには非ざるなきか

◉新穀の出廻り日一日と增加

◉回復

株式だより

▲沢賣は警戒乎

今仲買店　仁川米豆取引所仲買人　店主　西川平治郎

大五仲買店　仁川米豆取引所　店主　諸岡政太郎

三巴仲買店　仁川米豆取引所仲買人

ナ仲買店　仁川米豆取引所仲買人

一仲買店　仁川

聽衆醉へるが如し

長岡中將の講演會

長岡陸軍中將の飛行講演會は豫告の如く朝鮮新聞社及び我社主催の下に十七日午後三時より日出小學校に開催聽講者は定刻前より會場内外に溢れ京龍の知識階級は勿論日鮮人あらゆる階級を通じて

無慮一千二百名

孰れも愛國的氣分を眉宇の間に漂はせて中將を迎ふ、定刻に至るや岡部本社長の開會の辭及び紹介に由り拍手と共に登壇せる中將は「飛行機と歐洲戰」と題し一場の挨拶を爲し開口一番飛行機の沿革より說き起し帝國に於ても其の濫觴は遠く新井白石時代已に飛行機的技術を有せし者存在せる事記錄に由つて明かなりとすれ共實際其の發達史上に一新紀元を劃せるは

日露戰爭以後に

在り由來列强之が研究に腐心熱中する所となり一方怠惰なる國民との間に著しき差異を生ずるに至りぬと前提して現今列強飛行政策の大いに見るべきものあり其の設備に於て其の數量に於て將來又其の技術に於て如何に進步の跡歷然たるものあるかを計數的に說明し飛行機の偉力與いて之れが防禦策の困難を論じツエッペリン、フオツケルを防禦するものは正に飛行機に非ずして何ぞやと斷じ

帝國飛行政策の

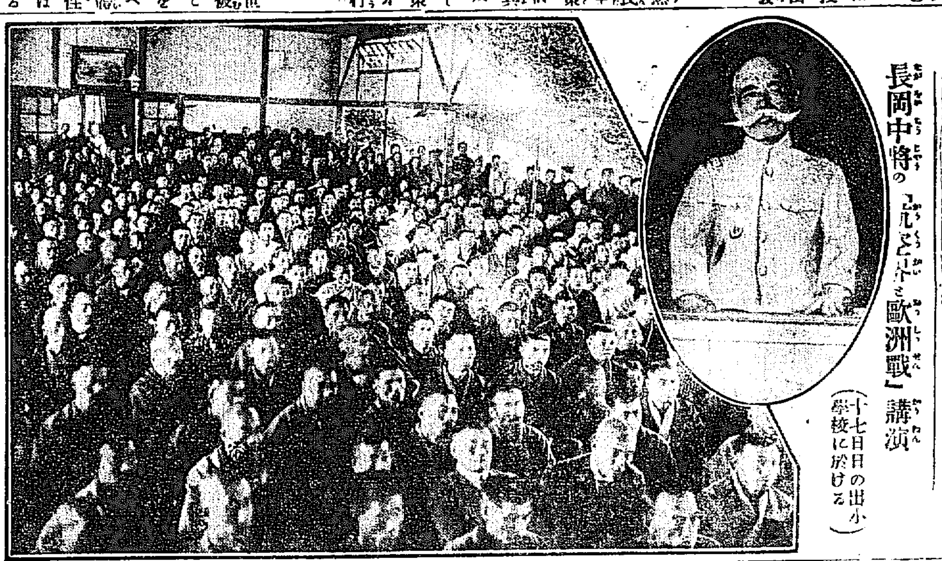
微々たるを憂ひ移つて大英政策世界政策に說き及ぼし現今英國の被れる精神的物質的大損害は果して彷彿何ぞと論ず其れより歐亂戰場を彷彿せしめ之に由つて吾人の與へられた新らしき敎訓は强健なる體軀を有する國民を造る事、倦怠性の國民は今後戰爭すらも爲し能はざる事及一國の富力を增進せざるべからざるもの等を擧げ要するに國力の增進は

戰爭の要素を爲

すもの須らく勤儉貯蓄以て國力の充實を計らざるべからず現今歐亂の敎訓二大格言は正に金と物とを國家的に要求しつゝあるに非ずやと推し英米の大富力を說き帝國の努力發奮を促し戰後經濟に論及する所あり今期歐洲戰爭に於て戰爭は已に既に終了せる也歐亂が吾人に與ふべき敎訓は已に全く敎へ盡せる今日徒らに歐亂の終局期を遠望し其の所謂終局戰後に於る

施設經濟を問題

とするが如きは之れ正に天下の大馬鹿者なりと憤慨し須らく帝國々民は此の歐亂の已に吾人に與へ盡せる大敎訓に鑑みて直ちに發奮努力以つて國力の充實と共に國防策に向つて邁進する所あられん事を切望す……と結ぶ。時に午後六時聽講一千醉へるが如き眼を擧げて靜かに散會したり、因に長岡中將の主管せる國民飛行協會入會希望者の入會金は朝鮮銀行に於て受付くる筈なり



長岡中將の「飛行機と歐洲戰」講演（十七日日の出小學校に於ける）

米國軍曹ウイリアム君を訪ふ

■背の低い男……『ノー、ノー』……苦り切つた顏
■長崎へ……支那内陸一周……旅行許可書……
■沈默狀態……異彩を放つ眼鏡……恩賞の象徵

米國飛行家軍曹のボー、ウオースと云ふ人が朝鮮ホテルへ宿泊したと聞いて訪問した。ボーウオースと云ふ人は外人としては極く背の低い方である年の頃四十には間がありそう眼鏡に無髯面かも前にも述べた通り小柄である丈けに其の人の

■**風采を** 見るとどうしても軍人飛行家とは受け取れぬ剩な通する時もボーイ君どうしても飛行家ぢやありませんねと言つて居たなど思ひ出しながら『御疲れでしやう』といふとウオース君は『いや朝鮮の鐵道に成つてから汽車が非常に樂だつたので……』と挨拶一笑。柔和な其の人の顏を見るにつけ小人ぢやあるまいと云ふ感じが強くなる頭を見ると如何にも柔和だが此の先生如何したものか無口だ

■**思ひ切** つて『貴下は飛行家ですか』と尋ねると『ノー、ノー』と答へる、ちやつと少し當が違つたと意識しながら、貴下は軍人ですか？と云へば『然うです米國陸軍の軍曹でボーウオース、ウイリアムと私の名です。』と答へる『では之れから何處へ御出になりますか、何しに來ました？』と矢繼早に質問を發すると此度は先生苦り切つた顏をして稍〻口が切つて曰く『私は非常に

■**幸運で** 此度も或る事件に關する功勞を賞せられて國元に歸る所です』と簡單に語つて又口を噤む『貴下は軍身み登かれた方でしたね……そしてこゝらに御勤務でしたか』と追求すると『まあ其れは』と言ひ澁つたが遂に『實は前にも申上げた通り軍曹です。そしてマニラの沿岸防禦の任にある第二飛行隊の……に勤務して居ました』と答へる、其れでは今頃何故

■**御歸國** になるのですか』と質すと『其れは……暫らく暇をもらつてマニラを發足し此れから長崎に行き同地に翻航して居る筈の同僚米飛行隊員の一部に合し米國に歸る途次に在るのですよ』……『貴下は獨り何故一行と行動を共にしませんか』と問へば『恩與に浴して幸運にも此度は支那内陸一周の

■**小旅行** を爲すことを許可されたからです……』と言つてポケツトを探り取り出した紙片を突付けて『御覧なさい』と言ふ。何かと思つて眺めるとマニラ駐劄飛行隊長が彼に與へた旅行許可書の一通であつた。彼れは記者を顧みて『私ありません』と笑ひながら『此度は實に

■**急ぎの** 旅行です此のホテルに只室丈け借り受け一寸休憩したばかりですぐ出發しなければなりません』と語つて新聞を讀み初めた。其後彼れの服裝に目を轉ずるとカーキ色の階級に同じ色のゲートル、赤い靴で身を固めた姿は確かに米國陸軍軍曹、眼鏡ばかりが異彩を放つて居たが上衣の所に何やら一の徽章が付いて居るのはウイリアム君が再度記者に語つた恩賞の象徵であらう（一記者）

大同江水運計畫

平壤の有志間に於て三萬圓の資本を以て大同江を中心とし其流域に於ける旅客貨物の運送及び曳船業を爲すことを目的とせる計畫は愈々具體的となり已に十餘名の持分も定りたる由なるが本計畫は第一期計畫として平壤兼二浦の二十五哩間寄港地十八箇所の運送第二期計畫として平壤と黃海及び安岳間の運送第三期計畫として平壤と上流間の運送となし大正七年度より開始することに爲しあり創業費は九千圓を以て石油發動雜船二隻を買入れ其他を以て船舶附屬品及び寄港設備費旅費用業費に充つる計畫なり而して營業許可權獲得については現に營業權の持主たる大野貞作外一名の權利を無償讓渡することゝなり居れり本事業は已に有志者間に於て協議促進し居れるも創業費に於て資金不充分なりと云ふものあり一面貨物の輸送は前途有望なりとするも旅客の運送は有望ならずと云ふものあり頃日大同江の水路調査として水路旅行を爲したる昨今の事なれば本問題については今尚平壤の有志間に於て研究されつゝあり

栗の收穫と販路

平壤栗の昨年度收穫は七千石にて本年は八千石以上收穫豫想なり近來平壤栗の聲價市場に高まり隨つて黃海道及び平安南道各地の栗中平壤栗に酷似したる物を選擇し平壤栗と稱して販賣せるものあると聞くが其實數量に於て極めて尠かるべく京城道江原道方面の栗が如きは殆々無しと云ふ目下支那方面より支那栗の輸入し來れるは事實にして平南道廳に於ても支那栗に劣らざる栗を產出し且其量に於て優に支那栗の輸入を防遏する程度に至らんことを切望し本年も平壤栗苗木五十萬本を當道の適地に栽培せしめたりと道勸業係の某氏は語り居れり

林野整理調査

總督府の國有林野調查班は客月を以て平安南道各地の調査を完了したれば本月十五日より賀倉班出張し平原郡東頭面及び龍岡郡鳳山面並に鎮南浦府内の各國有地の實査を爲すべければ土地所有者は此際土地所有申告書を府廳を經て提出すべしとなり

平安綿羊牧畜

曾て總督府より平安南道の篤志家に滿浦牧場より蒙古種綿羊配附すべしこれが飼育希望者の有無及び頭數等照會し來り居りしが當道には篤農家として南浦の富田儀作氏及び平壤の林長太郎氏等の飼育希望者あり何他にも牧畜從業者にして希望するものあり旁々國產事業として飼育せしむべく決定し不日五十頭だけ配送し來る由なり

製鐵試驗所設立

大倉組に於ては本年四月頃より東洋金鑛及び兩安州に電動力を供給せる發電力を以て新安州の土地を相し一大製鐵所を設立せんとの計畫なりしも其後同地に設置は沙汰止みとなり安東縣沙河鎭に設立中なるが其の代償と云ふ意味に於て一大製鐵所を設置すべく協議せられ先づ試驗的に鐵を製出する工場を約五萬圓の工費にて建設中なり

仁川の水質良好

細菌が少なく配水鐵管に少しも異狀が無い

水質檢査に依ると仁川に配給せる上水道水は九月中に雨が尠なかつた爲め非常に成績が好くなつて居る漢江水源は九月初め頃に比すると幾らか稍硬度を增加して居るが細菌の數などは殆んど半分に減つて居る沈澱池の水質も之と同樣非常に有機物及び細菌の數が減つて沈澱作用も完全であるから水質は頗る好い又濾過池に於ける濾過作用の如き其の濾過效率は固形物が約四十五プロセント細菌數が九十二プロセント以上を濾過し濾過作用に至つては何等異狀もないから之れ又濾過水の水質も極めて好く其他淨水池の水も仁川市内給水栓の水質なども勿論良好で少しも懸念すべきものがないとの事である

平壤最近穀價

平壤府廳に於て十月十日調査に係る重要穀價は籾上石九圓三十錢同中九圓同下八圓八十錢玄米上石十九圓四十錢中石十九圓同下十八圓八十錢精米上石二十二圓五十錢同中二十二圓同下二十一圓七十錢大豆上石十圓二十錢中九圓八十錢下九圓四十錢大麥上石五圓七十錢同中五圓五十錢同下五圓三十錢小麥上石十一圓八十錢中十一圓六十錢下十一圓四十錢なり

◎**實業青年會の遠足**　平壤實業青年會々員一同は十七日午前八時稅關波止場より船にて大同江を下り萬景臺の勝を探り同地に於て運動會を催し午後陸路徒歩にて歸壤せり

十月の京都

青園生

○京の秋風は比叡と貴船の峽から冷々と流れ込つて、秋の襲來は色づいて來た、高臺寺にも眞葛原にも最う花に鈴曳く人はない、嵯峨野の秋草園の音は餘り閑寂に過ぎるけれども、釋迦堂から小倉山仇し野あたり、茶畑の柿が色づいて夕日が斜めに藁屋の軒に落込むなどは京近くでは味はれぬ趣味である。

○嵐峽の秋色は縮に見る天下の勝地である。春の嵐山は若い女の裾模樣、秋の嵐峽は中年增の淡い帶の圖案であらう、花の春が文展趣味なら、風に色ある秋の嵐山は院展趣味である、歷史と風光の詩趣に憧憬れを有するものは、嵯峨野へ行くより外はない。

○秋風と共に美術シーズンに入つて何處も其色彩が濃厚になつて來た、院展は岡崎の勸業館で開催される、婦人博覽會も出來る、新美術屋の店頭には若い畫家の半切小品が時を得顏に飾られる、吳服屋は半襟に帶皮に文展圖案とか何とかとりどり新しきを競ふ、袷の裾や寒くなつて聲文拂爽籟、十夜、平安神宮時代祭、これも京美術の內に加へて置きたい

○鴨川は納涼床が取拂はれて廣々となり、柳の葉が縮み上る兩岸の色街は灯が濕つぽく絃歌が身に沁むやうに流れる、夜は思ふまゝ長くなつた、智恩院の鐘八阪の烏、祇園情話はこれから盛んに製出される

○芝居は南座に我童嵐吉壽三郎など若手俳優が乘込んで車輪に働き、明治座は村田正雄、竹豊座の春子太夫の淨瑠璃、夷谷座は樂天會一派で京の興行界も中々の賑ひ

○天高く人馬肥たり、成金は到る處に簇生し、松茸山は何處も早くから申込をうけて大景氣されど今年は何となく蟲害甚しく、發生多き割に腐敗せるもの又多く、市場の價も安からず、何だか成金に對する諷言のやうである。

演藝案内

壽館　京城本町　電話一〇五〇
▲浪界の女王吉田小奈良一行　一浪花節女王吉田小奈良十行滿鮮巡業中の處內地引揚に際し來る十九日より向ふ五日間……
▲美久仁の華（吉田文子）▲御藤織也（吉田奈良丸）▲稻川東下り（吉田奈良千代）▲赤垣德利別（吉田小奈良）▲水戶老公（京山若丸）▲赤垣泉岳寺引揚、佐倉義民傳（吉田小奈良）
特等七十錢、一等五十錢、二等卅錢、三等廿錢

有樂館　電話（階下）二〇五五
日曜祭日晝夜二回開館
▲若き日（男子……）……▲探偵劇……▲人情劇……▲滑稽コツタの失敗……第四「電話の聲」……

大正館　櫻井町　電話八七三
▲家庭悲劇「人の情」……▲冒險大活劇人？獸？「怪猿」……▲南劇「江戶城荒し」……

稻荷座　本町五丁目
賃貸連鎖町田邸茶室大詰
新派喜劇改正美團一行
第十二回目替り藝題
一番目　新己が罪　全六場
二番目　生人形　全二場

浪花館　京城明治町　電話二六〇
三遊亭圓左一座　晴雨不拘每夜六時開演
……

黃金館　電話二三六三七　二三六六
十月十二日より二回限り特別大興行……
▲新派社會大悲劇「新麗大將樂の卷」……▲婦女の節操と家庭問題……▲泰西正劇「女詩人」……

壽座　京城壽町　電話五七八番
△喜劇連鎖義士迺家（十回替り）
第一番目　壽劇　天入むこ　三場
第二番目　同　天の網　三場
第三番目　喜劇　蔦の葉　二場
第四番目　笑劇　落の穴　三場

汽機汽罐賣却
一、汽罐　コルニツシユ型　徑三呎六吋　長十五呎　水壓二百封　壹臺
一、汽罐　コルニツシユ型　徑三呎八吋　長十一呎　水壓二百封　壹臺
一、汽機　舶來橫式二十馬力　壹臺
一、石油發動機　五馬力　壹臺
一、煙筒　徑一呎　長六十呎　タラツプ付　壹臺
右の品賣却仕り候に付御入用の御方は御一報被下度此段廣告候也
平壤本町　岩田留楠商店

期米
大阪堂島米穀取引所仲買人　曾我商店

蝶の菓子　ひびあかぎれやけどかんごの妙藥　虫下だしの妙藥
一夜膏　風ひきマラリヤねつさまし
熱散 香蝶丸
到る處に支店出張所及特約販賣店アリ
釜山本町三丁目　日本一藥舘代理店

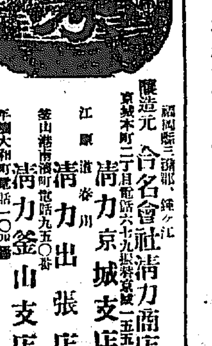
人參エキス
內用精効能　○胃腸病○神經衰弱○結核症○肺病○老衰○僂麻質斯○痳病○痔疾腦病○婦人病一切○營養不良より起る諸病其他諸病病後衰弱に對する滋養强壯劑
外用精効能　○神經痛○火傷○切傷○腫物○蟲に螫れた時○筋の張る時
朝鮮高麗人蔘（白蔘・尾蔘）直取引商　京城本町二丁目（郵便局前）
人蔘エキス本舖　顧問　藥劑士　土井兼次郎
津村兄弟商會
支店　津村商會支店　龍山支店　津村兄弟商會　大邱支店
本舖に御注文次第速に發送可仕候代金は振替に依る事が最も安全且御便利に候本店支店共市內は御一報次第配達
其他全道の藥舖にて販賣致居候萬一舖藥に無之御地方の方は直接

小鳥捕用　カスミ網（極上精糸製）○其他雁鴨兎網無双網等種々あり
高さ六尺　三間　二間半　三尺二間　橫市五間　四圓
京城永樂町二丁目　吉備商會　振替京城三二六番　電話三一四番

釜山亞硫加里工塲製品
鹽酸曹達灰　芒硝　洗曹達
發賣元　福榮商會　釜山辨天町

公債株式現物問屋
東京株式取引所仲買人
東京市日本橋區坂本町二番地
細野傳次郎商店
電話浪花　四〇九番　五〇三番　長六八九番　長六九八番　長六〇一番　五二五〇番
電信略號ホ又ハ（ホソノ）

內科　胃腸病　診察夜九時迄
京城本町一丁目　石川醫院　電話一二七一・三九〇九番



醸造元　福岡縣三潴郡　合名會社清力商店
京城本町二丁目　清力京城支店　電話六七九　振替京城一五五六
江原道春川　清力出張店
釜山港南濱町　清力釜山支店　電話九五〇番
平壤大和町　清力平壤支店　電話一〇四番

資本金壹千萬圓　頭取安田善三郞
株式會社百三十銀行京城支店
京城本町壹丁目　電話五八番　振替貯金京城一一九四番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地有之候

各種萬年筆即時修繕

男の生殖器病
生殖器短小、包莖、陰萎、早漏、遺精、夢精、勃起不全、交接不快、快感減少、腦神經衰弱、手淫及過房等には眞空療法器を使用する時は一回毎に効力現はれ自宅で簡單秘密に新驗すべく知名博士も其實効を證明し想外の偉効に驚く此の說明書を無代呈送す來所者には醫師懇切說明す
東京神田かぢ町五　電話神田七二三番
東京京城　眞空療法研究所
京城旭町二丁目　電話三〇七　東京パイン萬年筆出張所

京城黃金町三丁目　電話二四四三番　振替京城三二八八番
內科、眼科、小兒科　本田醫院　院長本田　達

痔核。痔瘻。脫肛。裂痔。痔出血。直腸脫
肛門病の新治療　附痔疾特種注射根治療法解說書入用の方は郵券十二錢を要す
京城肛門療院　本田醫院附屬

致富之栞!! 進呈
大阪堂島米穀取引所仲買人　營業所（堂島濱壹丁目）
今延商店
電話　北四六八番　北四六九番　北四七〇番　北四五六番
電信略號（イマ）

釜山着　十七日午後八時五十分釜山入港新羅丸一二等客……
十七日午前八時三十分釜山入港壹岐丸一二等客……
十七日午後九時三十分釜山入港高麗丸……
△二十一日　鍾路一二三丁目、仁寺洞、寬勳洞、公平洞……
△二十二日　樂園洞、益善洞、慶雲洞……
△二十五日　光化門通、内資洞……
△二十六日　竹添町一二三丁目、平洞……
同十七日　同十八日　同十九日　同二十日　同二十一日　同二十二日　同廿三日　同十八日　同十九日　同二十日　同廿一日　同廿二日　同廿三日　同廿四日
●に用紙を更ふる事●總て一種二句以内の事●發表後一週間以内に剩餘なく同案の見通告者には五十錢券を呈す但何番何號と明記に限る●宛名は京城日報編輯局俳壇選者文

豫報

京城溫度（十月十八日正午）　測候所　攝氏二十一度三分　華氏
前日最低溫度　攝氏十一度二分　華氏五十一度七分
京城（午前の潮）　（午後の潮）

左甚五郎

第五十八席

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

上は來す中は晝來て晝歸る、下々の下々めが流連をする、遊びは何でも朝早く歸るのに限ります、倉吉が歸らうとする時に幾代が後から居いて來て 幾『主は今度何日來てくんなます』と尋ねた時に幾代の顔を倉吉がジツと覗て 倉『華魁俺は來るつもりだが一年ばかり間があるから待つて居て下さい』幾『馬鹿らしいぢやアありませんか、藪入り見たやうに一年なんて待つて居られる譯のものぢやアありません、何ういふ譯なんです』と云はれた時に倉吉が 倉『俺は馬喰町二丁目の搗米屋儀兵衛の奉公人で倉吉といふ者で、過般友達に誘はれて此の廓へ來た處、兩側のお茶屋ではチリカッポンの大騷ぎ、處で華魁の姿を見て思はず病つた位お醫者樣の厄介になつて段々病氣も癒りお醫者樣から態うしろと云はれ、一生懸命辛抱して一年ばかりかゝつてやう〳〵十兩の金を拵らへて、華魁の處へヤッとの思ひか届いて來られたのだから、今度來るには又一年ばかり稼がなけりやア來ることは出來ないが、何にも構はず一生懸命に又一年稼いで貯ると來ますから、華魁是非それまで待つて居て下さい』幾代は倉吉の顔を見て居たが 幾『まア嬉しいぢやアありませんか、それでは倉吉さん一生懸命に稼いで其の儀兵衛さんといふ馬喰町の御主人の處に勤めて居て下さい、今度は貴下がお出が無くつても妾は來年は年が明けるんですが、年が明けると搗米屋儀兵衛さんといふ御主人の處へ倉吉さんと云つて訪ねて行けば判りますね』倉『エーそれは判ります』幾『それなれば妾が貴下の方へ訪ねて行きますから決して間違ひの無い樣辛抱して居て下さいお內儀さんを持つては厭ですよ、屹度行きますから』と呉々も幾代が云つた、イヤ何うも倉吉喜んだのなんのと云つて、天にも昇る心地がして 倉『何うも有難う、華魁それは本統かね、華魁の云ふことなら俺はもう著る物も著ないで一生懸命に稼いで、貯て華魁の方の沙汰を待つから、又華魁が來られなきやア來られないで使でも寄越して下さい、然うすりやア俺の方から來ますから』幾『何で僞りを云ひませう、屹度行きますよ』堅く約束をして歸ることに相成りました、此方は儀兵衛 儀『エー何うしたか奴め大層氣取り込んで出て行つたが、大分遲いが又今日一日休むつもりかしら』と云つて居る處へヒヨクリ歸つて來た倉吉 倉『旦那御遲くなつて相濟みません』儀『何うしたまア心配をして居た』倉『エー少し種々な訳しがありましたので遲くなりました』儀『何に休まれるへしなけりやア構はねえ、俺は又休みになるかと思つて心配した』倉吉は店に來ると 〇『オー倉吉々々何うした』倉『何うしたな』んて面白かつた 〇『もうあんな處へ行かねエで小さな店で幾度でも行つた方が宜いぜ、一晩にくだらなく十兩の金を遣つてしまつてつまらねえぢやアねえか』倉『處が然うで無ゑんで幾代華魁がね是非年が明ると行くからお內儀さんを持たないで待つて居てくれろと云つた』〇『エー馬鹿を云へ、妾屋の幾代さんがお前の處へ來るなんてそんな馬鹿氣たことがあるか、聞いて呆れる』△『倉吉、汝氣狂見たやうになつた、女郎のテレン手算に引かつて、汝の樣な奴が氣犯になつてしまうんだ』と皆なでワア〳〵素見して居る、何と云はれてもそんなことには一向構はない倉吉、一心不亂に稼いで扮裝にも振りも構ひません、主人の儀兵衛も喜んで居りました、

金錢商標 ヨ ほまれ味噌
日本醤油株式會社出張所
電話二四五番

高麗人參エキス は
品質の純良を以て多大の信用と賞讃を博しつゝある
京城府明治町一丁目 小笠原大藥房
電話一九四八番 振替京城七五二番

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院 電話四一九番

暦

十月二十日 九星 舊九月五日 乙未 本命二黒 坤納先勝

▲二黒 一寸先込する事有日常事見合東方は吉 昭剣坤 ▲三碧 不調和な意味する日新計手控ずる事は吉和介せわ事な祭す ▲四綠 不穿堅の事有日參事手控綜事は吉貨物に用心せらるべし ▲五黄 妨なし ▲六白 給新の日轉居入 昏吉 ▲七赤 [illegible] ▲八白 差引のつかぬ事し有日 ▲九紫 辻褄のあはぬ事有 ▲一白 日新事手控續事は吉一切のかけ事を禁ず

生活難を憂ふる勿れ
良職業
尚有利の事業也今回大に地方支店長を募集す返信料參錢相添へ至急申込べし直に採用(規則書送る)
京城市芝區愛宕町二丁目十四番地
帝國法律普及會

周易
明治町二丁目
介石堂
岡村介石

月やく
きのふの心配今日の安心 月やくとまり御心配の方いろ〳〵御困りの方は三錢切手封入御手紙下さい產科婦人科の大醫黑木院長の秘方劑を密封御知らせ致します
東京府淀橋町柏木二七五

かぜねつに
一番よくきく
キナピリン
●キナピリンは●感冒●熱病●頭痛●インフルエンザ●リウマチス●間歇熱(マラリヤ)等に大効あり
(定價 三包入拾錢 五包入廿錢 八包入三十錢 十五包入五十錢 三十二包入壹圓)
大阪市堂島元魚町 本舖 高橋盛大堂藥局
同 心齋橋博勞町 發賣 高橋盛大堂分店

東洋一 新形流行の魁
●各地到る處の藥店に販賣す
內田式ストロング靴は堅牢優美、價均一割久保證す

御旅行用 靴と鞄
◎定價 郵券二錢
東京市芝區櫻田伏見町角
內田靴鞄製造問屋
電話一五七一

りん病 ばい毒
一周分 梅毒 痳病 特製 普通
京城永樂町二丁目交番北
東京ドラッグ商會 京城支部

赤毛を生ぜしむるの憂ひ絶對になし
レートポマード
此の新煉香油生れて男子にはコスメチック、女子には鬢附が全く不要!!
それ程附け工合こいひ、匂こいひ一點の非のない最新式の煉香油です
東京 平尾賛平

一番よくきく
アレ止は
クラブ洗粉
本店謹製の
美身
クラブクリーム

此のクラブ美身クリームは素顔の美を増し白粉の附を良くする品質第一のアレ、日ヤケ止にして畏くも
皇后宮職御用品
たるの光榮を辱うしつゝあり。

出張所開設
平壤 栗 藥栗
新倉里 池田商會平壤出張所
京城大和町三丁目 電話七五九番
池田商會
振替二四七七番

御佛具調進所
京城本町三丁目七七(花月前)
小倉佛具店
電一五七一番 振替五二一元

秘密ヲ守リ丁寧ニ精々高價御預リ可申候也
京城北米倉町三六三番地
櫻谷質舖
電話一八五四番

七日ツヾケタラ鏡をどらん色白くなるゲンソ液
小瓶二十錢 徳用四十錢
今東京で大評判の元素液色黑き顏赤き顏日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに眞に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品す 送料內地八錢 滿鮮卅錢
東京神田和泉橋際 松本藥店

消化と毒けし 仁丹
德用で輕便な 金言容器 仁丹十五戔包添附
金言 腕力は決して權利を消滅する事能はず ベニエー

淋病新藥 ツヨール
故下山藥學博士、慶松藥學博士說明、田中藥學博士實驗、朝比奈藥學博士、岩川醫學博士檢定、加藤獨逸醫學士、山田獨逸醫學士等の實驗の結果理想的內服治淋劑と確定さる
▲本品は殺菌力を有し且絕對に胃腸を害せず膀胱カタル、尿道炎、睾丸炎、腎臟炎、消渴等其他一般慢性、急性淋病に偉効を奏す
●說明書無料贈呈す
百錠入壹圓八拾錢 五拾錠入九拾五錢 三十錠入六拾錢
製造元東京市日本橋 ツヨール商會
▲發賣元大阪道修町 田邊五兵衛 振替大阪八六七番

新荷著 スイス製 懷中時計
懷中時計(▲印はアンクル入)
腕卷時計(▲印はラジユーム付)
右は今回新著の商品にて本商會の獨特地方に無き所のもの決して他には販賣致さず
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國直輸入商
イングレッソー商會
本店京城本町二丁目 電話九七二番

汽車
京釜線(南行)
同(北行)
京釜連絡
同
湖南線(南行)
同(北行)
京義線(北行)
同
京仁線(仁川行)
京元線(北行)
同(南行)

京城日報

十九日朝刊

發行所 京城太平通一丁目 京城日報社

▲戻りは當 [illegible] 安の影響を受けて急轉直下の大惡落を報じた [illegible]

▲十九日の十二月限 [illegible]

▲木浦 ▲聯合品評會 木浦、務安、靈光聯合生産品評會の期日 [illegible] いあるが又同時に開催すべき府林 [illegible] 聯合學藝品展覽會にては特に地方費の補助を得一層景氣付き充分の設備を爲さんと苦心中なれば定めり施行せらる [illegible] 潔法を一層完全にすべく林署長は去十二日府内各衛生區長を召集し熟議を重ね十五日より五日に亘り施行せしが受持警官及び區長同 [illegible] 便局 [illegible] 内各郵便所長會議は去十四日木浦警備所跡にて開會齋藤局長の訓示及び打合せをなし即日閉會せり

獨逸の石炭研究(一)

醫學博士 佐藤恒丸氏談

獨逸が此戰爭中に軍需品や食物に窮して必要な研究に熱中して種々の驚くべき成功を示したことは誰も承知のことであるが此間又一方には平時の大事業や研究をどし〱進行させて偉大なる結果を擧げて居るのは誠に驚嘆の値がある昨年十二月發行の獨逸

△雜誌『ウオツヘ』に掲げた石炭に關する研究の如きは蓋し其の一端である此題目 勿論自分の專門外であるが記事は醫學に關係が深いから專門の方々にも恐らく趣味の事であらうが自身の興味から之を紹介しやうと思ふ。石炭に就ては既に可なり深い研究が出來て居る石炭は我々の機械の光も必要なる力の根源で加之瓦斯や『ベンツオール』や『アンモニア』『タール』などの必要品が之から發生し從て潜航艇、榴彈、肥料、藥品等を備へ得る

△石炭の餘惠 を受けて居る此の如く石炭が我々の文明や國防の基礎を成して居る以上は其の研究は必ず完成してあるべき筈であるが事實は意外にも正反對で石炭の化學的研究は殆ど零である石炭は純炭素から成つて居るもので之に僅かの有機質が混じて居ると云ふ一般の考へは全く誤りで石炭には純炭素は含まれないで水素酸素に乏しい複雜な

△炭素包合體 が含まれてあるのである然るに其の物質がどんな性質のものであるかは少しも分らない只普通石炭から製出する物質即『タール』や瓦斯のやうなものが其通りの形で石炭の中に存在しないことだけは確實で此等は皆高熱によつて石炭から發生するものである然るに今單に『タール』のみを考へても其の中から『ベンツオール』、爆藥、藥品、染料『サッカリン』、人工香料など種々の有力の物質を精製し得るのであるから石炭の元來の成分が明白になつたならば其の結果は實に測るべからざるものであらう、始めて

△石炭の成分 を研究したのはギユムベルで一千八百八十一年に之を透明にして顯微鏡下に檢し植物細胞の殘片などを認めたそこで石炭褐炭は空氣のないところで高熱と壓力とが働いて植物から出來るものだと云ふ説が確められた近頃になつてハンノーウエルのベウギウス博士は木と泥炭とを鋼鐵製罐に入れて五千氣壓で二百度に熱した結果炭素含量九割の無煙炭を得た是に於て氏は更に常温に於て自然に石炭の發生する年數を

△七八百萬年 と計算した一千九百十一年に英人パージエー及びホヰーラーは普通の石炭が二つの成分から成るもので一は木若くは細胞より一は樹脂、脂肪及び蠟から發生するといふ説を唱道した而して第二のものは石炭の全量の約一割を占め凝漿の用をなすものであるといふたが此説は漸次證明せられたのである。

支那漫遊

蘇峯生

人造的市街

哈爾賓は全く人工的市街也、而して其實市街と稱するものは、東清鐵道布設の當初に、成りたるものにして、今は殆んど零落の極に達せり。所謂る新市街は、中央の高地を占め、東清鐵道會社を中心として、出で來りたるもの、諸官衙學校、寺院、病院及び會社、商店等にして、宛然一個の露國式市街を成せり。埠頭區は高地を隔て、新市街に對し、松花江に沿うたる低地に出で來りたるもの、乃ち商業區域也。而して別に支那人の集まりて市街を爲す、傅家甸あり。一口に哈爾賓と稱するも、實は以上の四區を總稱したるもの、但だ傅家甸は、固より區域外にして、支那人の自治に一任し、全く自然生の市街と稱して不可なからむ。而して今日に於ては、寧ろ最も繁昌の中心たるが如き觀あり。

實に支那人は無頓着の人種也。無遠慮の人種也。苟も餘隙さへ見出せば、何時にても這入り込むを遲疑せざる人種也。或る意味に於ては、露國は支那人の爲めに、一の商業地を經營して、之を寄贈したりと云ふも、不可なき也。而して其れ豈に單り露國のみと云はん哉。哈爾賓は三人種の雜居地たり。其の割合は、支那人其五を占め、露人其四を占め、日本人其一を占むると云ふ可き歟。併し是れは統計的數字にあらず、旅客の目に映じたる印象也。

大正七年九月廿日朝 哈爾賓にて

航空界と歐洲戰(一)

帝國飛行協會長 長岡外史中將講演

今日は御當地の祭典であるにも拘はらず斯く多數御來會下さつた事は有難うございます。飛行機の研究は各國とも極く最近の事で、亞米利加のガングリーと云ふ人が、熱心研究したのが始まりであるけれが明治二十年頃の事であるが此の他佛蘭西のリリエンターと云ふ人も大に研究を致したが發達するに伴ふて、飛行機の先祖事が始まつて來た。日本でも敗けては居ない。新井白石の書いた書物を見ると、備前岡山に提灯屋の幸吉と云ふ小僧さんがあつた、或る年の櫻狩りの時に飛行機に乘り、天空から遙かに降り來つた。兩山の花見客は狼狽して皆逃出す其後で腹一杯御馳走を頂戴した。お上に於ては斯かる者は危險なりとて、之を牢屋に入れた際九年の後彼れ幸吉は牢死したと書いてある。故に飛行と云ふ事は日本にも隨分古くよりある。此の外に飛行機を研究した者が有つたか否か不明であるが兎も角鎖國攘夷。學術の進歩を妨げるのが、舊幕の一つの政策、されば忠孝仁義を説く外、學問無しと云ふ次第で、所謂格物致知の學術は發達するに由なかつた、併し日本にも飛行機を研究した先覺者があるのである、歐羅巴に於ては之が發達進歩の跡を窺ふに種々の苦心談がある。素より日本にある。日露戰爭の際、乃木大將が陸上から四師團を率ゐて正面に控へて御座るし、東郷大將は海軍を率ゐて御座るのであるから、此の上加ふる要は無い。私は其の際大本營で留守番を致して居つたが、何んとかして天空から我が軍を援けしたいものだと色々考へて居つたが、結局臨時氣球隊なるものが編成されて旅順に派遣されたのか明治卅七年の秋の末、愈々出發と云ふ際に、私は、何も言加へる必要はないが、どうか旅順城内の樣子を充分見屆けて呉れ、其れ迄は城内の樣子が一向解らない、若し爲し得るならばステツセルの頭に石でもよいから打附けて呉れと云ふのが私の註文であつたが、扨愈々となると何等の用を成さない。其の後滿洲軍總參謀長兒玉大將から屢々電報が私の許に參つて、敵の大きな繫留氣球が吾が軍の頭上に現はれて覗き込むので氣に掛つて仕方がない。速かに臨時氣球隊を派遣される樣取計つて貰ひ度いと云ふのである。さなきだに東京の大本營に於ては之に努力して居たのであるが、府下大崎村の今は故人であるが、山田伊三郎と云ふ航空界の先覺者を煩はし、或は又た帝國大學に相談して色々やつて見たがうまく出來ない後に露西亞の戰史を調べて見ると折角輕氣球隊を我地に派遣したが、何等用を成さなかつたと書いてある。今より十一年以前に於ては斯の如く幼稚なもので、日露戰爭に在りては何等空中の威力を借る事が出來なかつたのである。明治三十九年になると亞米利加のライトと云ふ兄弟が、故有りて佛蘭西に行つて飛行したのが、之が世界に於ける、飛行機の飛行初めである。併し僅に此の新たなる記錄は漸く二丁を飛んだに過ぎない先般亞米利加のユーレツトと云ふ人が私を訪ねて來て、貴下は國民飛行會長だそうなが、自分はライトが佛蘭西で飛んだ時のマネーヂヤーで、當時は隨分苦心をした、今日は其苦心談を仕に來たと言ふ。そんな貴重な話は私一人で聽くに行かん。交詢社に行つて皆に話して呉れと申した。私は交詢社に紹介して話して貰つたが、之は一個の立志篇中に書く可き事柄であるが、詳細な事は略して、ライトが亞米利加で飛ぶ事としたが、突飛な事を好む亞米利加人すらも、へは飛べたら御相談に乘りませうと云ふ譯で誰も相手にならない。そこで英吉利に行つて、當局の御助を願ふと言ふたが、同じく誰も相手にしない。已むなく佛蘭西に渡ると、政府及び有力者が是非やれと云ふ援助の下に飛んだのが僅か二丁、之が世界の記録である二十世紀の初めに生れたる此の小鳥は年々發育頗る早く明治四十三年になると五十八里半を一飛びに飛べる樣になつた。當時の寺内陸軍大臣は、どうも飛行機は生れて僅かに四年だが、進歩は非常に速い。之は他日軍用に供せらるゝものであると云ふ見地の下に桂内閣から六十萬圓の豫算を貰つて來て始めて臨時軍用氣球研究所と云ふ長い名稱のものが出來た。岡少將一つ所長になつて貰ひたいと云ふ寺内陸軍大臣のお話があつて、當時飛行機は飛ぶものか飛ばんものか判らなかつた私が承知しましたと云ふ譯で所長になつたが、誰も飛行機を知つて居る者が無い頃の事だから、飛行機によさそうな顏をした人……帝國大學、陸軍及び海軍の三箇所の人々にお願し、委員が出來て、愈々研究を始めたのである。此の年は、諸君御記憶を願ひたい。日本で航空の事を研究した年だから御記憶を願ひたいとは申さぬ。獨逸に於ては、此の以前より飛行機飛行船が稍發達して居たが、明治四十二年始めて、飛行研究所が公設された、故に獨逸の新進國たる墺逸及び日本が飛行機研究の第一歩を進めたのが、同じ年であつたと云ふ事を御記憶願ひたいのである。

誰(98)

布施生譯

賴太郎は呆れたやうに『眞正にな、おいそりや眞正かい』『眞正とも、どうしてそんなに驚くんだい。』『何故だつてそんな事をすればお前の身の破滅だぜ。』『どうして。』『どうしてたつて講談の先生がそう言つたぜ、大將變に澁る、時は全軍滅すさ。おいお前變な事をしてくれると己まで連累を食ふからな、おい眞正にやめてくんねえ。』聞いて利介はいやに、にた〱と笑つた。『よせ、貴樣あの女に惚れてゐやがるな。』賴太郎は騷がず『お氣の毒樣、己は金にこそ惚れてるがあんな女には洟汁も引懸けねえや。其癖己はまだ五十には餘程間があるんだがね。』自分の齡にあてつけられて利介は厭な顏をした。

利介は苦々しげに舌打して『いい加減にしろ此畜生、べら〱饒舌てばかりゐやがつて、其樣事よりどうだい此か、金をやるからもう之ぎりで手を切つて早く倫敦を[illegible]ないか。』『ふん幾許呉れる。』『五萬圓やらあ。』賴太郎はぢろりと利介の顏を見て變に笑ひながら『折角だが伯父樣先づお斷り致しませうよ。へんお前が五萬圓呉れるなんかと言ふ時にはね、お前の懷には乾度五十萬圓からあるんだからさ。』『馬鹿云ふない、何處にそんな金があるもんか。』『だつてもよ、從來のお前の遣方から見れば乾度そうだよ、從來お前の[illegible]でよ、餘り酷いとは思ひながら保部の婆樣から散々金を强請つたが其樣時はどうだつたい、甘い液は皆お前が吸つて仕舞つて己には十分の一も呉れなかつたぢやないか。』『いゝや、今度はもう大金儲が出來たんだから。』『そりやお前はよからうさ、それを持つてお前は何時でも勝手な時に高飛をするんだらう、後に殘つて己ばかり慘な目を見るんだ。』餘りに[illegible]じられて藏部はとう〱腑を起した、そして『此恩知らず奴』と怒鳴つけたが賴太郎はびくともせず『だつてお前は臟吝ばかり言つてるからさ、おいお前は兄貴の財産は幾許もないと言ひながら預け保部の銀行に十六萬圓も預けてゐるさ、處に卸した金だけでも四十萬圓の上からあるんだぜ、しかもまだそれ丈ぢやあねえお前の兄貴[illegible]何でもまだ大金を仕事にかける心算で其相談を受けた人間があることも知つてるんだ、それにお前はいやに秘し隱しをしてさつこうだい、之丈知つてるんだもの、己が態々オロンゴ迄まで調べに行つたのも無理はあるめい。こうまで知られては仕方が無い、利介は腑[illegible]ら苦笑[illegible]

賴太郎は勝誇つて言を續けた。『どうだい伯父さん、お前はいつも己を上に使ふばかりで甘い液はお前一人で吸つてるぜ。』『だつて仕方が無いからよ。』『なあに伯父樣、お前の考へが惡いからだよ、外の事は兎も角、初めの約束では氣永く婆樣を擁つて懸る筈だつたぢやないか、夫れにお前が餘り性急にやるもんだから惜しい事にとう〱あの金箱も破れちやつたあね』『なあに己はもう寧ろ一思に結着をつけた方が可いやうに思ふんだ。』『そりやさうかも知れないが、しかしそれにしても栞を女房にしやうなんて、いくら何でも餘り片附方が早過ぎるぜ。そんな事を企てるもんだから栞めとう〱吾々の計畫を嗅ぎ附いて仕舞やがつたあね、彼奴[illegible]樣の味方になりやがつて敵役に[illegible]りやがつた。』

新錄お伽 舌切雀の卷

幼年世界

子供の雜誌中で一番信用が厚く一番愛讀者が多い

お待兼の十二月號

幼年畫報

小波作 お伽 雷の迷子 松三畫

讀み易くて面白く尋常小學生に適當した唯一の雜誌

定價各十三錢 郵税一錢

東京本町 博文館

早稻田大學講義録

この絶好機を逸す可らず

總長大隈侯爵統裁

政治經濟科講義

法律科講義

文學科講義

早稻田中學講義

早稻田商業講義

主なる特與

本大學無試驗入學
上級編入及入學金免除
大學圖書の無料閲覧
夏期講習會無料聽講
卒業及修業證授與
發行圖書の割引購求
成績優秀者に給費す

第一號出づ 躊躇する勿れ

見本つき規則書 ハガキにて申込次第直に無料進呈すべし

入學金全免

申込所 東京牛込早稻田 早稻田大學出版部 電話番町 三七四 二四二三

鑛物分析及標品發賣

標品甲種七圓乙種四圓 送料三十六錢 箱入 始季時期入學せしむ

朝日公論社左横小路(電話一三四四番)

坂元分析所

蠶種と桑苗

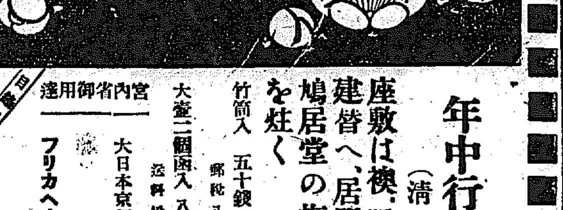
豫約御注文 最好期!

各 いづれも優良なる現品多數用意持合居候

蠶種に對しては目下特に貯藏冷藏水庫建設中に付手品の行屆は勿論貯藏御依囑にも應じ得る見込に御座候

京城漢江通四番地 東蠶社種苗部

振替口座三六二一番・電話龍山六四一番



年中行事(清秋)

座敷は襖、障子を建替へ、居間には鳩居堂の梅か香を炷く

竹筒入 五十錢以上 郵税八錢

大壷二個函入 八十錢 送料 竹圓

宮内省御用達

大日本京都寺町

振替大阪六三八

大正七年御壽寶

大正七年農家暦

一冊 郵税共十七錢

創刊廿週年の紀念付今回の方に限り千名 [illegible]

御壽寶は明年國家の氣運歐洲戰亂外交注意作物豐凶等の神秘を占ひ各人の運勢毎月吉凶の位置和合等等天候農事時の各運を知り農家暦は稻作改良各種並米料絲毎月高低豫測買等 [illegible]

一千圓の懸賞募集

何人も出來る最新發明の懸賞法にて永久利益販賣の名法を與ふ特約販賣を望む諸氏其目的を記し本書一冊注文と同時に照會次第由に詳報す

發行所 東京本郷區湯島四丁目 高島易斷總本部 神誠館

主婦之友 新年號

肺病全治者の實驗

△私は斯くして肺病を手輕に全治す……清
△一年間に肺病を全治した實驗記……か
△生死の境を彷徨した肺病が治るまでの三年間……回
△夫の肺病を全治させた看護の經驗……

主婦の知らねばならぬ米の知識

△日本人は何故に米を食すべきか國民か……
△白米は何うして買つたが經濟か……
△斯うすれば旨い御飯が出來る……

△家事を上手にとる主婦の心得……
△遠足にもたせてやる飲物食物……
△東京で評判となつた子供着物……
△家庭で手輕に出來る被染め法……
△季節向きの大根料理いろ〱……
△廿四年振りで眼が見えた喜び……

貯金の出來る家計方法

(生活は日一日と困難となる。普通の遣り方ではいつになつても貯金は出來ぬ。見よ上手な家計方法を)

△肺病を全治する五大秘訣とは……
△子供の肺炎は如何に豫防すか……
△一年に三度肺炎を病んだ子供……
△失敗の揚句に家運を開いた話……
△自分に一番似合ふお化粧方法……
△乳の出る不思議な妙藥を求む……

田舍女の 東京見物記

寫眞畫 婦人運命判斷

本號の附物 千代萩繪譚

本日出來 定價金二十錢 半年分前金一圓五拾錢

東京神田表神保町二 振替口座三三七八六 東京家政研究會

(毎號發行後直ちに賣り切れ相成る故至急申込を乞ふ)

獨墺國關係注目

獨墺兩國の關係は非常に緊張し注目に値すべきものあり是獨逸が墺國に對し英米との講和條件の概要を通知することを拒絕したるが爲也(倫敦電報)

獨皇帝兩國訪問

獨逸皇帝は勃牙利國首府ソフヰヤを訪問したる後土國首府コンスタンチノープルに到著したるが同皇帝今回の訪問は土勃兩國が既に知られたる墺國の對講和態度に刺戟され不安の念を懷き居れりとの報道に起因せるものと見らる(倫敦電報)

獨左翼共同作戰

獨逸海軍がリガ灣の制海權を得し以來形勢重大に陷りリガよりヴエンデン南方高地の露軍に接觸しつゝある獨軍の左翼ヲツチエハ將軍はリガ海の海戰に應じて共同作戰を爲しペルナツ、ハツパルの背面に進出せんとするものゝ如し、同將軍の左翼はレーウエル軍港の背面を衝くを目的とするものゝ如しと(露都電報)

露飛機敵機追擊

獨逸飛行機はオーゼル島を根據地としメーン海峽を越えて芬蘭海上を飛翔し又露國飛行機も盛んに活動し獨逸飛行機を追擊しつゝあり(露都電報)

三閣員露都歸還

露國大本營に集まれる首相ケレンスキー氏及び陸軍、外務の三相は會議を了り露都に歸還せり(露都電報)

米更に四國へ貸附

米國政府は英國に對し更に五百萬磅、露國に對し一千萬磅、佛國に四十萬磅及び白耳義に六十萬磅を貸付けたり米國が今日迄に聯合國に貸付けたる金額は總計五億四千二百萬磅に達せり(紐育電報)

段氏陰略と李督軍

段總理は王懋賞及び楊德隣兩氏を自黨に引入れ江蘇、浙江を其手中に收めん計畫あるに依り李江蘇督軍は或は近く獨立の行動を執らん底意あるにや最近孫洪伊氏等と往來し居れる事實あり又過日蚌埠にて倪嗣冲氏が盜人二十餘人を檢擧し其根據を糺明せるに叙州の伊敬臻氏、南京の李純氏、陸榮廷氏及び孫洪伊氏等皆重大なる關係あるを發見せりと傳へらる(上海特電)

天津衰微の兆

藤田滿鐵理事談

藤田滿鐵理事は今回山東鐵道管理部長の兼務を解かれ十六日郵船汽船筥崎丸にて門司經由東上せり同氏の談に曰く天津水害は其被害程度甚だしく避難民は青島に移住せんとする傾向あり今後天津の繁榮の一部は青島に移らんとしつゝあり鐵鑛山は本年度より愈採掘に決したり同鐵山の鐵量は約一千萬噸の見込みなりと(門司特電)

露食糧委員來元

十七日出發京城へ向ふ

浦鹽斯德食糧委員マツユーフ氏は十六日元山に來著せるが其用務は浦鹽斯德に於て牛肉の供給不足を告げたるを以て之を補給せん爲め牛牛を買集め元山に於て屠殺し生肉にて輸入を試むべく且つ牛馬の視察を爲さんが爲めなり氏は長谷川總督宛添書並に寺內伯への紹介狀をも所持し居ることを語れり氏は十七日京城に向け出發せり(元山特電)

村田技師陞叙

朝鮮總督府技師兼同中央試驗所技師村田素一郎氏は今回兼官を免じ同時に高等官二等に陞叙されたり(東京特電)

長岡中將來安期

長岡中將は二十三日來安の旨其筋に通知あり三日間滯在の豫定なりと(安東特電)

兩司法官動靜

司法省參事官池田寅次郎、長崎控訴院檢事長小山松吉の兩氏は十九日午後七時卅分來安二日間滯在の筈也(安東特電)

總督歸任

南鮮地方の巡察を了へたる長谷川總督は本紙夕刊所載の通り十八日午後四時二十分南大門驛著特別列車にて歸任せり同驛頭には例の如く一般の出迎へを謝絕せることとて美濃部銀總裁、谷屋、橋兩武官、遠藤秘書官、佐藤警務部長其他三五の親近者に過ぎざりしが列車プラツトフオームに入るや總督は齋藤、大島兩副官、神田秘書官等の隨員を從へ最後の展望車より下り出迎への人々に會釋を與へつゝ貴賓室を過ぎりて總督府差し廻しの馬車に搭乘し兩武官並に隨員等の馬車自動車隨從して四時三十分官邸に入れり

大邱製系工場

十一月一日より操業開始

揚返工場一棟百五十坪、貯繭庫二棟二百二十五坪、食料庫一棟四十五坪等の新築工事は目下着々進捗中なりと、尚ほ明年度は更に工場を擴大にし工場を增加し五百個の釜を据付けて益々事業の擴張を[illegible]質相當にして乾燥宜しきを得ば二等品たるべきも多くは乾燥充分ならざるもの[illegible]不合格品の如き[illegible]

觀瀾亭雜俎

蘇峰生

○世の中には、日曜を好機として種々の集會を催すものあり、又た日曜を好機として、他を訪問する者あり。日曜が事務より解放せられたるが爲に、然かすと云へば、是れ一應の理由はある也。されど、日曜は休日也、休日、讀んで字の如く、心身兩ながら休養の日也。若し集會や來客にて、心身の休養が出來れば、是亦可也。されど未だ必ずしも然らざるを奈何。

○人間の精力は、無盡藏にあらず。ランプの光も、油が減ずる丈、それ丈薄弱となる也。蒸汽の火力も、石炭や、重油、減ずる丈、それ丈薄弱となる也。吾人は六日消耗したる所を、せめて一日に之を補塡するの必要はなき乎。

○然るに此の大切なる補塡の日を、騷ぎ廻りて暮すに於ては、何の日、何の時にか、內省、反顧の機會ある可き乎。斯る意味に於て、一日の日曜は他の各曜日よりも、人生に取りては、却て重大なるにはあらざる乎。

○予は基督教徒が、日曜を聖日とするの意味に於て、何人をも日曜を聖日とせよと云はず、されど六日働いて、一日得たる休日を、塵芥の如く拋却するは、餘りに休日の効能を、無視するものと思ふ也。群居偕樂も、休養の道也。されど獨處靜思は、休養と云はんよりも、寧ろ修養の祕訣也。

市街地稅成績

京城府稅務係に就て聞くに本年度第二期市街地稅の十五日迄に於ける納入狀況は內地人納稅義務者二千五百八十六人の內納入濟白七十四人鮮人納稅義務者一萬七千九百六十五人の內納入濟一千六百四十五人外國人納稅義務者二百三十三人の中納入濟廿六人法人納稅義務者八人の中納入濟三人にして其納入割合內地人側七分鮮人側一割一分法人側一割一分外國人側一割一分なり府は一般に成績思はしからざるより督勵を加へ指定期限たる本月二十五日迄に可及的成績を舉ぐることに努め指定期限を經過せば直に未納者の調査を爲し滯納處分の準備に移り來月に入れば早々督促狀を發付する計畫なりと尚曾て記載せし如く滯納常習者名簿の調製を爲しつゝあれば定まれる稅金の外に督促手數料を徵せられ而も滯納處分を受て府の閻魔帳に登錄せらるゝの不名譽を招かざるやう心懸られ度しと當局は語れり

地稅負擔額狀況

京畿道管內市街地稅施行地に於ける大正五年度中公課負擔額調查狀況を聞くに左の如し

▲京城府 內地人三十八萬四千四百〇一圓、鮮人十八萬九千二百三十九圓、支那人一萬〇百十六圓、外國人八千八百十七圓

▲仁川府 內地人七萬七千二百五十二圓、鮮人一萬二千九百五十一圓、支那人五千〇五圓、內地人五千百二十圓

▲水原 內地人五千百二十四圓、朝鮮人三千四百二十五圓、外國人四圓

京城關稅收入

京城稅關出張所の取扱ひに係る本年四月より九月迄半期間の關稅收入は合計六十一萬三千百六十六圓九十五錢にして前年同期に比し廿一萬七百三十五圓卅錢の增收なるが尚之を細別すれば左の如し

種別	本年度	前年度
關稅	五九三、七八一	三九七、〇七七
酒稅	一五、九〇三、六三	一三、〇三三、三三
煙草稅	三、五三、六一	三、六三、八〇
稅關雜收入	一、六三三、五四	一、〇五七、二五
[illegible]	[illegible]八、三三六	[illegible]

繩叺筵製造高

總督府の調査に係る大正四年十一月より大正五年十月迄一箇年間に於ける繩叺筵の製造高は改良叺五百十九萬五千八百七十二枚、在來叺四百六萬八千七十九枚、改良筵九十一萬五千八百九十枚、在來筵百七十萬六千四百八十九枚、繩一千八百八十九萬一千九百十三貫にして之等を前年の製造高に比すれば改良叺は四割三步、改良筵は三割、繩は一割三步の增加を示し在來叺は三割七分、在來筵は一割弱の減少を見る、而して其內販賣に付したる數量は改良叺四百三十六萬二千六百十六枚、在來叺二十八萬七千百二十二枚、改良筵十六萬八千四百八十枚、在來筵八萬四千百八十一枚、繩二百二十七萬二千三百三十三貫即ち總製造高に比し販賣品の步合は改良叺八割四分在來叺七步改良筵一割九步在來筵五步繩一割二步にして改良品製造奬勵の効果著しきを認む

害蟲被害終熄

忠清南道扶餘郡にては稻熱病及び稻葉枯病發生し被害見積額一萬一千餘圓、同道洪城郡及び天安郡にては夜盜蟲害ありて大豆に一萬八千餘圓、同道論山郡にては尺蠖蟲發生し大豆に一萬一千餘圓の損害あり又た平安南道鎭南浦太平面には夜盜蟲、平安南道价川郡には粟夜盜蟲發生し前者は粟に二千五百圓、後者は同六千百餘圓の被害を蒙りたるも官民驅除に努めたる結果此の程何れも終熄したる旨其筋に報告ありたり

府職員增給決定

總督府及び所屬官署の增俸に伴ひ之に均霑すべく京城府廳に於ても府吏員以下の職員に對し臨時增給の儀其の筋に申請中なりし處今回愈認可ありたるを以て本月一日以降當分の內實施することゝなれり之に依れば府、學校組合の三團體を通じ月收四十五圓以下のものは、九月三十日付を以て內地人月額二圓朝鮮人月額一圓五十錢を又日給者は本月一日附を以て內地人六錢鮮人五錢の日給を孰れも增給することに確定せるが此の增給總額三百餘圓人員百八十餘名に算せりと

燐寸會社目的變更

朝鮮燐寸會社は同社發起人及び引受株數變更に關し許可申請中の處十月十四日付許可の指令を交付されたるが此程又同社目的の單に黃燐燐寸及び安全燐寸の製造及び販賣なりしを一、黃燐燐寸及び安全燐寸の製造及販賣二、燐寸軸木素地箱製造販賣三、植林事業並に製材及び販賣四、前三項附帶の事務を營むに變更し目下許可の申請中なりと

關谷局長下仁

關谷學務局長は阿部視學と共に十八日午前十時著下仁普通學校小學校其他各學校及び築港等を視察し午後五時より檜野府尹邸に入り學校長其他に一場の訓話を爲せり

長谷大佐出張

京畿道警務部長長谷大佐は開城、長湍、坡州の三郡管內巡閱の爲め來る二十二日より出張の筈なりと

川上滿鐵理事東上

川上滿鐵理事は十八日朝南大門驛發東上したり

橫井氏發期

滿鐵業務研究所職員に轉任したる橫井實郎氏は二十日朝龍山驛發赴任すべし

安東課長歸任

營業上の打合せ其他の任務を帶び東上中なりし安藤滿鐵京管營業課長は十八日午後八時五十分龍山驛著歸任す

哈爾賓領事通過

東上中なりし佐藤哈爾賓總領事夫妻は十八日朝南大門驛通過歸任したりと

岡軍參謀出張

軍司令部參謀岡少佐は北兵師三十九旅團秋季演習視察の爲め十七日開城南川地方に出張したるが來る二十一日歸任の豫定なり

林軍獸醫部長出張

軍司令部獸醫部長林里次氏は畜産狀況視察の爲め十八日朝出發大邱地方に出張したるが二十日夜歸任の豫定也

原田社長歸期延ぶ

日本郵船取締役として東上中の朝鮮郵船會社長原田金之祐氏は日郵の要用問題紛糾のため十月三十日の株主總會までは歸京し難かるべしと

兩屬青島轉任

總督府屬三好麟造、中谷近太郎兩氏は今般青島民政部へ轉任二十日朝南大門驛發西下赴任の筈

金剛山探勝團

金剛山探勝團一行二十四名は十八日朝新義州より入京したるが滿鐵京城管理局にては京城ホテルに於て午餐會を催し一行を招待したりと

百聞百種

渡米議員團も呉越同舟ながら先づ議論もせず喧嘩もなく仲好く米國に到著したから某君に從つて來た詩に曰く▲一行中の望月小太郎君と見える▲一行自任國家寶。滿鵬飄飄三杯酒。月白太平洋上秋。▲而し皆が其れ／＼私設大使になつて吹き廻られた日にはやり切れぬ▲日本で公德心問題が出ると能く日本人許りの病氣の樣に云ふ人もあるが▲其う思ふて居ると大間違ひ▲公德心缺乏病は何處の國でもある▲比較的公德心病の少ない英國でさへランカーシャー、エンド、ヨークシャ鐵道では▲車內の吊革が年に一千磅から盜まれる相な▲盜まれたものは皆靜劑のストラップの代用になるとサ▲歐洲戰爭はだん／＼戰鬪員に缺乏して來るので近來は盲目を徵集して比較的危險の少ない後方の電話交換手に採用し始めたとの事▲戰爭は愈々軍人と軍人との命の取り遣りではなく▲全く國民と國民との戰爭になつたのだ之れだから講和風が必ず何處かに何時も吹いて居るのだ

大阪より

支局記者

○治水上築堤は水路の自然に順應すべきなり、自然に反抗せる科學的治水は普通の出水にも破らるべし而して不可抗の天災に向つては科學的技術も木ツ葉微塵のみ、科學的文明の過信戒むべし

○水害地實地調査の結果は案外作の被害少き模樣にて洪水につれ稻は倒れもせず穗を垂れつゝあるもの多し被害を誇大に吹聽し米價釣上を策する輩の憎むべきを證す

○東京に於ては既に富豪の水災義捐に就て運動を開始するあり、大阪の富豪默として死せるが如し、敢て市長府知事の訪問を待て到るべきにあらず、率先して範を垂るべきのみ、成金には好個の金の捨場所なり。

○京都府下葛野郡の有名なる貧民村逸早く醵金十圓を集め警察部に託し尚青年の勞役寄附を申出ず、美しき同情なり、之に反し義捐品を車に積載し數流の大旗を先頭に隊をなして市內を練り廻らせるが如き售名同情者あり、醜惡陋劣憎むも餘りあり。

○阪神京阪兩鐵道合併問題漸く首を擡げんとして阪神株主側の反對に會ひ一頓挫を來すと傳ふ、而し交通上京阪神電鐵の統一併合は自然に將來すべき現象なり、唯に挫は重役の功を急げるに因れるのみ、大勢に依りとして合同に

○藤田家が資本金一千萬圓拂込濟みの株式銀行を創設せんとす、沈滯せる[illegible]五百萬圓にて一株式銀行を創設せんとするは例に誰も知る處の如し、之にて土著銀行九を算す、多少競爭の態度は免かれざるべく、大阪の銀行界は多事なり。

○鴻池家はさきに大阪倉庫を三井に賣り名古屋支店も人手に渡し今又神戶支店を鈴木商店に賣却す、殘るは京大阪の本支店のみ全く金融界より退くが如し見ゆ一千萬圓の富豪の賣喰と評するものあり又かかる本支店も久原銀行と改稱すべしとの噂すら大なるもの又自然淘沙の數には免れず、新陳代謝自然の理のみ。

○世間兎角成金を蛇蝎視する如き傾向あるも強ち嫉忌すべきにあらず、沈滯せる社會の氣分を活躍せしめ適所に財の運用を忘らずんば成金又大に歡迎すべきのみ、祖先の財を相續し凡々たるに比すれば雲壤の差なり。

○高等小學二三年の男子の頭腦に著しく影響を與へたるは歐洲戰爭なり大將大臣を理想とせる兒童忽ち化して戰後の大實業家大鑛山主大株主を夢む、之れに伴ふ利弊は、教育家の研究すべき處、又成金の子弟等が驕奢を極むる生活と服裝所持品の贅澤を羨望し中流以下の子弟が犯罪的惡感化を蒙る甚だ少しとせず、戒むべきなり。

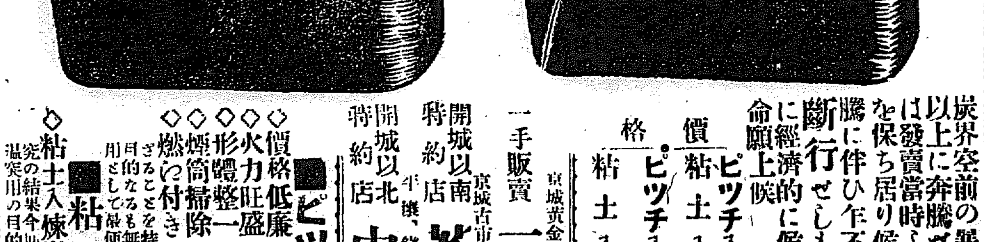
大邱

▲穀物組合總會 慶北穀物改良組合は來る[illegible]日を以て[illegible]

▲[illegible]行はれたり當日金泉邑內の裝飾華[illegible]敗名を隨へ十八日出張の途に就り[illegible]張所に於ける[illegible]兵及び補助員の敎育狀況並に在鄉軍人狀況視察[illegible]の爲め國分課長中山著佐氏は十五[illegible]

▲鮮銀券發行週報 十月七日より十三日に至る一週間の鮮銀券發行平均高は四千八百零二萬五[illegible]

炭界革命の金鈴



經濟的唯一の燃料
平壤無煙煉炭

炭界空前の暴騰各炭殆んど倍格以上に奔騰せるも平壤煉炭のみは發賣當時より一定不變の價格を保ち居り候處今回諸經費の高騰に伴ひ乍不本意左の通値上斷行せしも各燃料に比し非常に經濟的に候間此際多少共御用命願上候

價格 ピツチ入 二ツ穴千二百個 拾四圓 込持 粘土入 三ツ穴千三百個 拾壹圓廿錢 込持 ピツチ入 五十個入一個 金六拾五錢 壹錢參厘 粘土入 四十個入一個 金五拾貳錢 壹錢壹厘五毛

一手販賣 京城黃金町(電二六・七二四・一一九)三井物產株式會社
開城以南特約店 京城古市町一四(電九四一・三二〇八)平壤、鎭南 若米地商店
開城以北特約店 中村組

■ピツチ入煉炭
◇價格低廉 火附容易なること
◇火力旺盛 耐溫力長きこと
◇形體整一 取扱貯藏に便利なること
◇煙筒掃除 の手數を省略すること
◇燃ゆ付き たる上は堅く塊まつて崩れざることを特長とし主としてストーブ用の目的なるも無煙無臭なるが故に廚房用温突用として最便利なり

■粘土入
◇粘土入煉炭 は從來の粘土入にして研究の結果今回更に改良を加へたり主として温突用の目的なるも炊事用として亦便利也

平壤無煙煉炭
最德用唯一の燃料

短期速成
建築科講義錄
東京市麹町區飯田町三 帝國工業教育會

內外人の上流社會に喧傳愛賞さるゝ

純國產 牛久 赤白 葡萄酒

光榮 畏くも 宮內省御用命の光榮に浴し 同時に 伏見宮 久邇宮 梨本宮 を初め奉り 各高貴の御家庭より平素の御料として 御買上の榮を賜る

品質優秀價格低廉なる所以
本品は[illegible]
東京本町 近藤利兵衛

［…］工女寄宿舍、事務室、食堂、娯樂室、裁縫室、講堂等に充つべき二階建一棟五百六十坪、製絲工場三棟三百十五坪［…］所は差當り二百六十個の釜を据付けて愈々來る十一月一日より製絲作業開始の豫定にて目下三百名以上五百名を限り內鮮人工女の募集中なり

●仁川大豆檢査數　仁川米豆檢査所に於て十月十五日迄取扱ひたる數量は大豆三千八十三叺にして內不合格七叺あり何れも品［…］ある等の［…］によるものなりと而して米穀は僅かに中白米軍用米十五叺を檢査せしに過ぎずと本年は總べて檢査數量著しく減少せり

［…］町在鄉軍人集會所に於て總會を開催すべし

●金泉秋季祭典　金泉神社秋季祭典は十七日を以て［…］

［…］部長服部米次郎氏は管下仁川、［…］溪、化寧、青山、俗離、壯岩、［…］城、舍人岩、殷山等分隊分遣所、派遣所に於ける事務檢閱の爲め部下［…］は十八日中に山清警［…］すべし

●憲兵分隊巡視　大邱憲兵分隊管內龍溪、孝令、軍威、湄城、義興、古充、永川等分遣所派遣所出張すべし

●農業技術員會　慶尙北道は來る十一月五日より四日間道廳樓上に於て農業技術員の協議會を開催すべし

秋祭り　左上南大門驛前の御所車△同下晝食所本社前の雜沓△右上三業藝妓連中の［illegible］△同下妓生連の行列

●鳳輦還御　轍の音神々しく
◇沿道堵を爲す參拜者◇
◇湧き返る市中の雜沓◇

十八日午後一時本社前を發輦したる京城神社大祭の鳳輦は武橋町、鍾路一丁目同三丁目電車交叉點、同四丁目、黃金町四丁目

■交叉點にて休憩し東洋拓殖會社角より南大門通りに出で明治町商品陳列館前の休憩所に來た時村上病院では祭官委員に酒肴を饗した、夫れより黃金町三丁目を經て本町四丁目の交叉點に出て此處でも町內有志の茶菓及び酒肴の饗應があつた斯くして鳳輦は豫定の如く

■莊嚴なる神樂の音につれて日出町、總督官邸前に至り更に久水外事課長官舍前を通過したが、此時久水課長は夫人と共に盛裝して官舍前で神幸を奉迎してゐた、是より南山の阪路を上つて鳳輦の還御したのは午後六時であつた

▼夜の賑ひ　各町思ひ〳〵の趣向

夜に入りては市中各町とも更に非常なる賑ひを呈し殊に本町通りの如き各商店とも競ふて店頭の飾りに意匠を凝らし就中本町二丁目の紅葉狩の飾物及び三中井吳服店の五所車、丸一吳服店の

■電氣仕掛裝飾　夏川小間物店の仕丁人形其他各商店の盆景、生花等の飾物は頗ぶる人目を惹いた樣である

●大熊と格闘す　三名を傷けて斃さる

咸北慶源郡慶源面中豐洞に九月三十日午後四時頃一頭の大熊現はれ通行中の李京順に重傷を負せたるより松川洞憲兵出張所より憲兵出張し熊の行衛を捜索中突然草叢より現れたる件の熊は補助員に飛び蒐り大格闘を初め居る內吉浦上等兵が一彈の下に射殺したり補助員は數箇所に負傷せしも生命には別狀なかるべしと此の熊は身長七尺餘りあり取調べの結果同日對岸支那地にて支那人柳某に重傷を負せて豆滿江を渡り來り水田にて農事中の蔡禹錫にも咬傷を負はせ附近の農民より追はれ來りしなり

●平壤神社大祭

平壤神社秋季大祭は十六日の前夜祭より頗る盛況を呈せり十七日は朝來全市內各戶國旗獻燈を揭げ各商店は幔幕を張り市民は一般に業を休め祭典は午後一時より神前拜殿に於て嚴肅に舉行せられ本田平壤府尹祝詞を奏し奏任以上の官吏、公職者並に氏子總代等玉串を奉獻せり餘興として相撲、寶探し、藝妓の手踊あり煙火は朝夜を通じ打揚げられ市內殷賑を極め居れり十七日夜八時より櫻神社にても大祭を執行し餘興として素人芝居の催しあり（平壤特電）

◇喊聲漲る　忠北平野
長谷川總督騎馬にて觀戰

淸州を中心とせる忠北平野の機動演習第一日たる十七日は空高く晴れて秋色廣野に滿て實に絕好の演習日和なり此日南北兩軍は未明に行動を起し南軍は九時半淸州北方高地に到著し敵情報告の到來を待つ間程なく北軍は九時二十分頃三峰里を前進しつゝありとの報告ありたれば之に攻擊部署を定め十時半附近一番の小丘上に占據し北軍纖滅を期して待ち構へたり一方北軍前衛は午前十時墨坊里西方高地に於て南軍

▼將校斥候と　衝突して之を擊退し淸忠線本街道上を前進し來りたる本隊は同地附近に於て陣形を整へ南軍をヒタ押しに揉潰さん勢なり此日長谷川總督は墨坊山高地に於て將校斥候衝突戰を觀同地より馬に跨りて陽地里附近高地に立つて熱心に觀戰しつゝ有りかくて十一時ともなれば

▼兩軍益々接　近し來り各方面に銃聲漸く起り戰機將に熟せんとする折柄各高地に砲列を敷きたる兩軍砲兵も又砲擊を開始し殷々忠淸の山野を響かし三千の貔貅は追擊又進擊中央高地に據る地點を挾んで接戰し戰闘の猛射

▼小銃の亂射　に天地も碎けん許りなり聽て北軍左翼に當つて突擊喇叭の音響けば各部隊一時に喊聲騰り猛烈なる白兵戰は開始されたり時午前十一時卅五分此時統監部より起る休戰喇叭と共に午前の戰闘は一時中止となりたり（十七日午後一時着）

▲午後の追擊戰

午前の遭遇戰を終りたる兩軍は審判官長の許を受け更に午後の戰闘に移りたるが午前中の戰闘に於て南軍時に利あらず漸く美江方面に向つて退却を開始し北軍は直ちに之が追擊に從ひ午後二時を以て猛烈なる追擊戰開始せられ北軍は疾風の如き勢を以て南軍を急追したり

▼長驅三里追擊　戰闘は夜に入りて中止

十七日午後の追擊は北軍の急追猛烈を極め南軍をして足溜りもあらせざる程なりしが南軍の後衛は克く栗峴北方高地を固守して本隊の退却を全からしめ北軍第一線の淸州北門外千木突附近に迄で押し寄する頃漸く陣容を整へ頑強の抵抗を試みたるより北軍は栗峴高地に砲列を布き忠州街道に砲彈を備へて極力陣地掃射に努めしも

▼追擊意の如　くならず中にも臥牛山々腹一突角に陣據しつゝ頑強に抵抗したる南軍一部隊の突擊に向ひたる北軍一個中隊の如きは意外の大敵に出會し殆んど全滅せん許りにて後援隊の來着を待つて漸く敵を潰走せしめたる程にて同地に於て更に陣容を整へ淸州市街を通過し午後四時半無心川左岸迄で追擊し來りたり此時已に早くも淸南橋南方銅源里一帶の高地に據りて

▼北軍を防止　せんと備へたれば北軍支隊長は更に全軍の攻擊部署を定め直ちに戰端を開き同五時漸く高地を占領したれど南軍は更に米坪里北方高地に於て巧みに地物を利用し散兵壕を急造して最後の奮戰を試みんとするもの如く南軍の戰闘は間斷なく繼續せられつゝあるも北軍の銳鋒進出する能はず遂に日沒に至り秋風兵卒の戎衣に透りて

▼冷氣漸く身　に迫り戰闘は更に一段の悽愴を加へたるが遂に兩軍の雌雄を決するに到らず南軍は同地に第三大隊を右翼に第二大隊を左翼に展開せしめ第一大隊其他を第一線豫備隊として同地附近に止めたる儘午後七時一時戰闘を休止して露營したり（淸州）

●大阪府下增水　箕面電鐵十三三國間不通

十七日來の大雨にて大阪府下の水害地は又も四寸五分增水せり箕面電鐵十三、三國間不通と成れり同電鐵は過日の暴風雨以來之れにて三度目の不通にて淀川下流の浸水地は漸次增水の模樣あり（大阪特電）

●片栗粉で死亡

大阪北區高垣町安達元二の娘しげ（六）ゆき（三）及び男勳（一）は十六日片栗粉を飲みしに中毒を起しげは卽死ゆきは十八日死亡し勳も容態危篤に瀕せり大阪府衛生課に於ては目下片栗粉の分析試驗中也（大阪特電）

●六人組の强盜

本月六日午前二時頃全南長城郡東化面松溪里酒幕李鍾鉉方へ六名の强盜押入り折から宿泊中なりし柳判凡外六名及び主人家族等を制縛し手當り次第物品を強奪し立去らんとする所へ來掛りたる同所金光淑外一名は强盜逮捕に向ひたるも誤認せられたるものらしく六名の强盜は光淑外一名を取圍み兇器にて毆打せし爲め兩人は重傷を負ひたるより社倉派遣所にて目下犯人搜索中なりと

●列車に刎らる

釜山九一洞小川ちよの長男清通が十二日夕刻佐川洞吉本たか方前の鐵道線路にて一名の內地人男が線路脇に打倒れ悲鳴を上げ居るを發見し釜山署より警官醫師出張檢視せり取調べの結果負傷者は香川縣仲多度郡瀧川村當時釜山府片一洞居住新谷增次（五五）と云ふ土工にて同日は午後六時頃自宅にて飲酒酩酊して線路內を通行中南行の急行列車に觸れ頭部其他に重輕傷を負ひたること判明せり手當の上同人の長男秀光に引渡し草梁鐵道病院に入院治療中なるが生命には別條なかるべしと（釜山）

●搔つ攫ひ

長崎縣北高來郡小野村生れ住所不定の土井口吉太郎（二〇）は去る六日午後六時頃平壤黃金町熊谷爲四郎方に忍び入り金庫在中の六十八圓を竊盜し表に立ち出んとする處を折柄外出先きより歸りたる爲四郎に取押へらる

●横著な住持

慶南統營郡山陽面鳳坪里龍華寺に九月二十二日一名の賊忍び入り極寶揭代金四百二十一圓餘を竊取したる旨届出でに依り統營警察署にて犯人嚴探中住持金性昨（五三）が該金を横領せんと不實の申告をなしたること判明して同人は統營署に引致さる

●絞殺

黃海道平山郡細谷面農栗、昌煥妻洪景谷（三四）は先妻の子金槐命（一九）が言ひつけに反抗したりとて九月二十九日夜槐命の咽喉部を強く絞めつけて窒息死に至らしめ縊死して自殺を遂げたるが如く裝ひたるを湖川憲兵分遣所にて檢視の結果は絞殺の疑ひあり洪景谷を引致して目下取調べ中

●老婆を慘殺

黃海道瑞興郡德面田里花月子行商金召史（七三）は十月九日夕刻鳳山郡舊淵面上東里の海州道路にて何者にか慘殺され所持の金品三十一圓餘を奪され居るを發見し沙里院警察署にて犯人嚴探中賊は上東里の李明雲（三〇）の所爲なることを突き止め十一日同署の手に逮捕目下取調中

●飛降り

十七日午後一時半頃義州通行き百九號電車が黃金町二丁目を進行中本町一丁目金壽福（二五）が飛降りをなし左手に負傷し共愛堂醫院にて應急手當を加へたり

●金物泥棒

兵庫縣印南郡西神吉村生れの淸野太一（二七）は京城黃金町四丁目黃金遊園內に堆積しある銅線鐵屑等を竊取したるを手初めに外三箇所にて井戶釣瓶金具類を竊取して十月九日本町署の巡查に捕はる

●京電の運動會

京城電氣株式會社共濟會にては十七日午前九時より獎忠壇に於て秋季大運動會を催したるが面白き競技數十番及び趣向を凝せる假裝行列あり正午より蕎麥、うどん、おでん、麥酒其他場內に設けたる各種の模擬店を開き各券番の藝妓連赤襷にて酒肴を斡旋し午後五時過ぎ散會したるが好天氣の祭日の事とて入場者多く盛況を呈せり

●鮮銀の野遊

朝鮮銀行本店員多數は十七日午前九時十分南大門驛發列車にて開城彩霞洞に野遊を試ろみ午後七時三十分着列車にて歸京せり

●仁川製鐵地鎭祭

仁川製鐵工場は道廳仁川製鐵所の名稱を附し十八日午前十時より萬石洞の敷地に於て地鎭祭を執行せり、秋色深き郊外の眺望絕佳の小丘に南面せる祭壇を設け事業代表者として島田康氏其他花田瀧川の諸氏及び仁川板倉稻田兩氏參列の上神官の祈詞嚴かに最も崇嚴なる祭事を行へり十八日直ちに基礎工事に着手し來月中旬迄には機器全部の据付を了すべく事業の進捗を急ぎつゝあり（仁川）

●小泥

京城南米倉町林富榮（一七）は以前雇はれゐたる同町林明柱方に十月六日夜同町の金世基（一九）と共に忍び込み置時計靴等を竊取して本町署に捕はる

えんげい

■有樂館　十八日より全部新寫眞差替にてリチャードの主・るんの家の如し△人情劇高橋コツ子の花くら子の失敗△人

■大正館　十九日より全部新寫眞差替新派連鎖劇團の花一名娘消防、判不破と名古屋山三全四巻△第四電話の噂七八巻▲家庭悲劇人の情全四巻三十五場△冒險滑稽風船泥棒△家舊劇江戶城荒し四巻▲其他主なる寫眞左の如し

■壽館　變らずに當地に來り當館に開演して好評を博したる吉田奈良丸の妹吉田小奈良は此の程より再び當館に來り［…］

うわさ

一百圓賭けで禁煙の約束をした阿部鮮銀局長が、奉天の出張先より對手なる飯泉國庫課長に滿洲は禁煙の範圍外と思ふが如何との問合せ電報を此間打つて來たので▲飯泉君さうした電報を打つ所を見るとテッキリ阿部君は喫んだんだと解釋し、百兩附け替への急電を發した事は一寸御披露した▲その儘阿部君とも云はるゝ者が默つてゐやうとは思はれなかつた所、案の條長電を飯泉君に寄せて大抗議を申し込んで來た▲其の文句に曰く、吾輩は滿洲を範圍外と思うたから念のため訊き質したので既に安心して煙を吐かした譯ではない▲若し百兩を附け替へたら、早速附け戻して貰ひたい……▲どうせ阿部君が歸京したら飯泉君との間に黑白を爭ふ一論判あらうとの事で或は滿鐵の列車ボーイ、旅館の女中、鮮銀支店の給仕の證言を必要とするかも知れぬとのうはさ

十月廿日より　新柄半衿陳列　新柄ショール　見切半衿賣出し　三越吳服店　京城

朝鮮名産　金剛山產松の實入　金剛飴　ポケット用　美術罐入　京城　龜屋

公告
第壹號　羅紗張卓子五脚外壹百六拾五品
第貳號　各種拳銃六挺　仕込杖參拾四本
右入札ス詳細ハ十月十八日以降ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
警務總監部

◎大正館の大發展　十九日より　大正館
淑女畫報所載家庭小說　小栗風葉先生傑作　家庭悲劇　人の情　四巻　芳村夢郎擔任　八車輪
尾上松之助十八番大活躍　鬼若九郎飛行忍術　舊劇　江戶城荒し　四巻　藤本入道松之助　山相勤申候
伊太利チネス會社傑作　極端に毛色の變つた世界的大寫眞　人？獸？　怪猿　五巻　野村雅延得意の說明
其他寫眞滑稽差加へ寫眞空前の長尺に付正午後六時より映寫仕候

電氣器具材料輸出業　澤電機商會
本店　京都市綱手四條南　支店　大阪市北區梅田町　工場　京都上者長町下ル東堀川

東京市神田區五軒町一番地　鳥獸剝製用義眼卸小賣　米山商店

內科　外科　小兒科　婦人科　入院隨意　淋病黴毒科　夜間モ診療ニ應ス
朝鮮診療病院　黃金町三丁目長橋通角　院長　谷本佐一　電話二八三七番

模範牛乳　ニッソ　石鹼洗粉　發賣元　肥塚正太
京城蓬萊町四丁目　東亞牧場　電話五一二番

大口歡迎　質　黃金町二丁目長谷川町　電話二九一六番　田村質店　商品擔保便利取扱

料理研究の捷徑
▲料理が容易に覺えられて　▲作法も同時に習得出來る

日本ほど料理智識の乏しい國は稀であるが、近來我が婦人會に料理研究熱が勃興して、何人もこれが習得に努めて居るのは、誠に喜ばしい現象であります。然るに日本には未だ料理研究の機關乏しく、折角料理研究を思ひ立つた方も、良い講習法無きに苦しんで居るのであります。

▲板垣伯爵夫人 は此の時代の趨勢を看取して、夙に東京割烹講習會を設立し、完全なる料理講義錄を發行し、日本料理、西洋料理、支那料理は云ふに及ばず、日本菓子、西洋菓子、漬物、燒物、煮物、揚物等より、野菜の栽培、各種食品の研究、名流の饗應に至るまで、荷くも料理に關する事項は、一切これを網羅し然かも其の講義は斯道の專門大家が同會の附屬割烹學校に於て、日々講述し實習せし結果を、季節に適合せしめて編輯せしめたもので、文章は極めて平易、附するに總振假名を以てしたれば、何人も一讀直ちに料理に精通することが出來るのであります

▲一擧に兩得 尙ほ板垣伯爵夫人は、現時我が國に禮儀作法の頽廢せるを憂へて、特にこの講義錄に禮儀作法の一科を附し、婦人の是非知らなくてはならぬ禮儀作法を、一々圖解して、詳細に說明してあります。故に同會の會員となり、其の講義錄を讀めば、容易に料理に精通し、然かも禮儀作法を覺えることが出來るのであります。同會は目下

▲會員の大募集中 で、此の際の入會者には種々の特典ありと云へば只今が入會の絶好機であります。

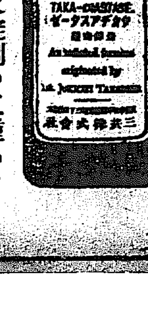
▲入會の手續 は極めて簡單で「ハガキ」に「講義錄送れ」と書いて申込めば、直ちに會員として送本します。會費は送本後、毎月其の都度郵便局より送金に行く故、何の手數もありません。會費は一ヶ月僅かに參拾五錢で尙ほ半ヶ年分前金を以て申込む方へは［…］に割引し、壹ヶ年分前金で申込む方へは參圓九拾五錢に割引します。

▲內容見本無代進呈 尙ほ內容見本入用の方へは、無代進呈しますから、遠慮なく
東京本郷元町　東京割烹講習會
へ申し込んで下さい。同會は振替口座東京一九四一〇番、電話下谷五六九二番であります。

外科　一般花柳病科　內科　一般皮膚病科
京城旭町二丁目（本通り左に入る）　島崎病院
診察夜九時迄　普通及隔離病室完備　電話二七三六番

＝タカヂアスターゼ＝

高峰博士創製の本劑は從來北米及英國にて製造の品を販賣し來りたるも今回本邦に其工場を設け純國產品となれり
類似模造品を本劑と同一强度又は同一効力ありと稱し販賣するものあり注意を乞ふ



本劑は粉末及錠劑の二種あり
本會社發賣のタカヂアスターゼは總ての胃腸患者に賞用せらる殊に本邦人に最も多き澱粉消化不良症に起因する諸症に用ひて卓効を奏し從つて能く其榮養を增進す

東京室町　三共株式會社

櫻御殿

第四十四回　大阪　霞の家主人

△謝告　郵便遲延の都合により「三左衛門の血」一と二が前後して著いた爲め誤つて後先になりました、即ち前號に出した「三左衛門の血」（一）は（二）であつて今日の分の（一）に續くのでありますから其お積りで讀んで下さい、郵便の都合が斯うなつたのでありますから何うぞ惡からず御承知を願ひます。

三左衛門の血（一）

佐和山は、小早川秀秋を大將とし、脇阪、朽木、田中等の諸將を一團とする軍勢に由つて辛くも落城し、關東の大軍はいよ〳〵勝に乘つて大津膳所に押寄せる、そこへ家康の命が下つて、全軍滯陣と事定まる、大崎三左衛門が血の一滴を濺らす時が刻々に迫る

家康が軍勢を大津膳所に集めて前進を止めたには理がある、[illegible]は大津街道の要路に當るので、家康の家臣中にも、智慧者との稱ある伊奈圖書昭綱（一萬五千石）を以て、それに鐵砲組の足輕三百人を付けた、圖書は辯口に巧みで、勇氣もまた優れ、特に家康の信用を得て居た事は上杉景勝が陰謀の時あつたとき、詰問の使者として會津へ行つたのでも分る、その圖書がどんと控へて、通行の人を一々調べる、そしてよく〳〵の人でなければ、滅多に通行を許さない

の昔、木曾義仲が旭將軍の餘勇をもつて、京洛の中へ攻め入つた時木曾の山武士が禮に嫻はず、京洛中を狼藉して、公卿町人の恨みを買つた事から、さしもの鴻業を水と流して、粟津が原の露と消えた先蹤に鑑み、東國の武士が猥に京都へ踏み入つて、輦下を蹂躪することあらば、それこそ覇業が空しくなる、六十年來陰忍、苦鬪幾十度死生の間を往來して、今日までに築き上げた江戸の城の根太が落ちるとの遠慮から、許可なくして京都へ入ることはならぬと沙汰した

然し、勝ち誇つた軍兵ども、何うした事から紛れ込むかも知れぬと思ふので、京の樞々に關を設け然るべき番人を付けて、洛内との交通を斷ち切つて、中にも三條口切角三條口まで出て來て、こゝから追ひ返される者が日に幾十人あるか知れなかつた

『爲らぬ〳〵、この關所を通行すること罷りならぬ』

『供人三十餘人を伴れた、騎馬武者の立派なのが通りかけると、柵の外に見張して居る番卒が咎め立てした

洋料理　電氣すき燒　ハイカラ丼　おいしい事京城第一との高評を博し居り候　南大門通　電話二五七一番　カフエータイガー

こゝでも一言を故障せば、三百挺の鐵砲が一齊に口を向ける、すると馬側に從いて居た一人の士がむツと出て

『疎忽めさるな、此のお方は福島左衛門太夫殿御子息刑部太夫殿ぢや』と斷つた

何かと云ふと、正則の手の者が福島風を吹かけて、人々を威壓しようとするのが、徳川方に取つては云ひ知れぬ不快の原であつて福島左衛門太夫といふと、大膽の無理は通る、殊に今度の合戰で、拔群の勳功を樹てた事か、一際福島勢を横暴にする

福島刑部太夫正之と聞いては、追ひ返すことも爲きぬので、その事を圖書へ申達する、圖書は早速罷り出で

「これ、刑部殿、役目に由つてお尋ね申す、入洛の御用、何事でござり申す」と訊いた

正之も禮を厚うして、

「お役目御苦勞に存じ申す、これは父正則の命を受けて、政所樣お館へ御機嫌覗ひに罷り申す、無事

安州炭　京城西小門町　西崎商會　電話七二七番

通行を許したまはゞ、此上の滿足にござらぬ」と云つた

政所は太閤秀吉の正室で、正則とは遠い血縁にも當る、殊に正則は政所に厚意を運んで、月々お見舞ひの使者を遣せて居る事を聞いて居るで、事情が事情、相手が相手、通行を阻む理にはならぬから「然らば御通行あらせられ」と許した

正之は滿足して通る、政所もまた正則を力にする、關ヶ原の合戰の模樣、今後の行動、大阪の所存等についても、話み入つた話があるから、歸りは夜にも入るであらう、それは圖書も承知して居る

そこへ一大事が勃發した

京日俳壇

露

露に濡れ船曳き下ろす夜明哉　白樂天
星麗尾を曳て樹々は露を保ちし　同
井戸蓋の露に沿ねき旭かな　要村
門の內に朝刊が露に濡るゝ　同
提灯に露散る夜學戻り哉　味川
登校のズボンは朝に濡れし　琦好
物干竿を拭ふ手に露が零るゝ　さだ

稻妻

渚走る潮の音や稻光り　楚川
稻妻や湖を繞らす山の色　同
海は靜に搖れ居る稻光り　同
稻妻や雨脚見ゆる蕎畑　乙里
倉を次々締め往く音や稻光　同
波を潜るトロール船や稻光　忍堂
名を祀る土人の唄や稻光　郊青
稻妻に浮標漂ふ港かな　馬岳
稻妻の窓に影打つ艦かな　井蛙
稻妻す船梁に眠る巨艦哉　愛鳳
灯點して夜釣りす人や稻光　鑑菴

野分

石垣に躍くる鼬鼠や野分晴　味川
停車せぬ小驛又ある野分哉　同
灯が消して寺の野分に凝る夜哉　同
芋の葉は野分に破れて夕日哉　待宵

夜長

夜長の灯消す戸の外や東力哉　味川
長夜屏風の羅漢獸に居り　琦好
彈き止ぬ隣の琴も夜長哉　汀幽
謠文を譯す夜長の机かな　未刀
夜長灯寢つかぬ犬を叱りたり　要村

二百十日

桐山に二百十日の夕日哉　透天
二百十日の入日朧入江哉　北豐
黍畑に風もなき二百十日哉　馬岳
磯の焚火に二百十日の月出て　愛風
蜻蛉集に二百十日の小雨哉　森傘

秋夕

秋夕べ舟の底燒く烟かな　待宵
築灰を消す程雨や秋夕べ　同
秋夕べ退院の俥据きけり　同
秋の夕べを猶去ぬ柿の鴉哉　汀幽
庭を掃く日課・秋の夕べ淋し　同
移民船に灯が點りけり秋夕　未刀
一人居れば虫鳴き出しぬ秋夕　月三
船よりの葉書届きぬ秋夕　山興水

□百濟忌句會

扶餘の水北亭にて先君子の百濟忌を修せる夜公州にても同人會し句筵を展す此の夜雨瀟りなり朝鮮俳壇に百濟忌を修す又因縁ふからずと爲す（大正六、十、一）公州山城吟社

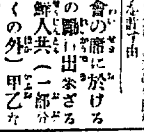
百濟忌やダリヤうなだる野壇の灯
百濟忌や形柱に貼る十字の賦
百濟忌や鵲鳴くに散[illegible]
百濟忌や水に濁ひし秋の人
百濟忌や都に聽くや雁の聲
百濟忌やわれ月を詠む[illegible]
百濟忌や正座に据ゑし[illegible]の人
百濟忌や空に飛ぶる雁の群
百濟忌や洞窟に吹く秋の花
百濟忌や塔にかゝれる舟の人
百濟忌や出す紺葉書や扶餘の月
百濟忌や史談し更けて虫悲し
百濟忌や牟提ぐる雲に虹崩
發壇や霧に燭せば秋の風
江に遊りて百濟忌の人集ひけり
人ながら蠹、せ百濟忌
拔手は談る百濟奏楽や百濟忌

（作者名：鐵禪、同、同、孤、同、未刀、同、一、同、鶴、齋、さた、山城、女石、王、孫、同、同、同　ほか[illegible]）

紫草の花

虹に涌く水濁す桶や花紫草
乳に細りて離れの櫓や花紫草
前日に陽長き人や紫草花
花に菜靜なる日の暮れてゆく
山羊飼の面長の家や花紫草
（次、同、孤、死、同）

早大講義錄第一號出づ　秋期新學年を開始せる早大政治經濟、法律、文學、中學の各講義錄は、既に大々第一號を發刊せり、本年度は殊に其內容の、備充に努力せし一方法として學資金給與、卒業者の大學無試驗入學其他種々の大特典あるを以て一般の好評を博し入學申込非常の多數なりと、[illegible]何時にても入學を許す由



▲宴會の席に於ける時間の勵行出來ざるは內鮮人共（一部分を除くの外）甲乙なきも六時の招待を受けながら一時三十分も後れ平氣で出席せる鮮人は兎に角內地人の多くあるは誠にい、はやにて御座候（南大門通中）▲市內或る商店の看板に隨分間違つた橫文字を書いて平氣で居るのがある是は店主の不注意よりは看板屋の無學に基くものと思ふ現に黃金町と若草町の交叉點にある洋服屋の新らしき大看板の如きは仲々振たものである餘計なお世話だ書き直して欲しい（穴探生）▲無宗、青年に問ふ、兄先づ迷へる現代の人々よと絕叫す、然らば兄獨り能く悟れりや、次に自から立ちて自己の大精神を世に宣傳す、と云ふ一應貴下の大精神なるものを承はりたし、日蓮と同格に進むとは日蓮の如く成るを云ふや、貴下の所謂大人格とは如何なるものと指すや具體的說明を求む、時節柄好漢、幸に自愛せよ（迷へる見）▲新日蓮宗に於て宗派の爭ひありや、れ本門派がどうの佛立講がいけないとか實に見苦るしいではないか（自稱基督者）

新築落成　京城明治町二丁目　胃腸病院　入院隨意　院主　醫學士　佐々木杏造

▲大阪　期米當限寄付二十一圓六十三錢▲中限寄付二十[illegible]▲先限寄付二十一圓七十一錢

▲相場跳ね返す　大阪電話　[illegible]りは又賣物多く一錢乃至上げ大阪四錢七十二[illegible]の反動を報じたるより賣れに對與に買物頻はるが株式の此後は帳簿整理の爲[illegible]と小高き入舩なるに各地商に四錢と跳ねたるれたるに節の利喰賣を消化して商[illegible]の成行休止し居れるより利喰さへ[illegible]も利喰賣物多く二錢乃至三錢上[illegible]の成行を見したる不知今後の[illegible]如何あるべきを示して散會

▲場面强硬　前日大阪の[illegible]を受け[illegible]

（十一月十日より十四日迄五日間）て見物なるべし▲秋季清潔法[illegible]行一々詳細に注意を與へ最も精密切迫したれば當局の監督者しく生鮮態の良好たるを以て騒りとせ方協贊官設立以來は內鮮人共各餘る本府にては品評會開催の[illegible]に勵行中なり▲警務部長巡閱新任務務部長は二十六日來木通[illegible]

期米　寄付　十月限　六十二錢　十八　十一月限　六十二錢　十八　高値　七十二錢　安値　十八

ね小便　治療好期　本劑は長音尾軍醫官苦心發表の新療劑は効力偉大全治の餘り禮狀寫眞寄至急各縣より續々來る今迄自療の手當服藥等に不治再發の人も悲觀せず論より證據直に試みられよ詳細は三錢切手添へ○東京向島新小梅二一院營東京衛療院品部へ申込め　最新遺尿自療法解說書無代進呈

禁煙ハイプ　一箇一日　一圓七十錢　東京醫藥學會新發明液　◎朝鮮王李王殿下御買上　◎ニコチン中毒か知らぬ間に消へ本より煙草きらいとなる人（一組）絕對無害・煙草の味一變日かわりが二日や三日後で煙草がいやになりませぬ◎賞味手ばかりなり◎證明書新聞名記入御申込說明書進呈　ニセモノあり社名に御注意　東京神田猿樂町三ノ四　發賣元東京堂壹貳七番　一貫社

京日案內

番外　◎質商金（匿名一兩品）　十錢（に拾錢附し）
▲御照會の節は必ず數中の番號御記入なかれ▲十錢迄中込の節は料金返戻せず▲六行以上の御申込は特に割引▲御照會は返信附にあらざれば回答せず

普通

◎女事務員採用　普通教育ある二十歲前の婦人を求む履歷書持參本人來談　本町一ノ四　七三〇
◎店員入用　十八歲以上要保證人　希望者は履歷書携帶本人來談されよ　仁川商野酒道場　七二九
◎被雇　二十八歲甲種商業出商經驗有　貿易及米仲買商を望む遠近　南山町一の十三の十二中島方福本
◎十月生れの女兒預けたし希望者は至急御來談を乞ふ　南大門通二丁目　硝子商藤村支店　七二八
◎濁酒大賣出し御小賣大勉强　本年は特に上出來　（電話三〇三）龍山　丸三酒場　七三一
◎融通　月賦の御方へ極秘迅速簡易　立替御伺ひ候　京城大和町三の三二（兩澤前）世屋　七〇九
◎古本買入申候　本町一丁目（町役所前）野村書店　電話三〇五〇番　七二〇

番外

◎銃砲火藥　鐵具　京城本町三丁目　電話二〇九二番　增戶銃砲店　六一六
◎諸流生花御用　◎花器花優良材料販賣　◎取引誠實安全　京城旭町一　電九八番　月桂冠　七一五
◎恩給年金即時　◎期限　低利　二年迄無保險　京城南大門外（御成町）　山口屋　電二六八番　六七一
◎はねつき（うちみくじき）一切の治療御依賴に應ず　明治町　柔術道場　六三八
◎年金恩給即時　低利　五年半迄保險不要　京城永樂町壹　四年半迄　商品陳列館前下角　江州屋本店　六三〇
カバン製造並修繕　京城明治町二丁目　電話一八三番　古賀鞄製造所　七〇六
◎質　業務一切親切に取扱ます　明治町二丁目　東小路前　交番　片山質店　七二六

顏を中心とした お化粧法

粗惡な品をお塗けにならぬ用心が第一條件

お化粧と云へばお顏が大部分であります。御婦人は勿論男子方でも、お顏は最も大切なところで、目鼻立の美醜は別として皮膚の綺麗なのと穢いのと、イキ〳〵したのと衰へたのとでは其の人の全容貌を左右する事になります。ホーカー液は此の大切な素顏の化粧料として海の內外に喧傳されて居ります。

家庭化粧料

素顏を白くする

ホーカー液

[illegible]に朝夕一二滴づゝお附け下さい

◎小瓶　二十錢　◎中瓶　四十錢　◎大瓶　八十錢

送料內地無料

光榮愈々深し

宮內省御買上の光榮を賜ふ

衞生博覽會より名譽金牌を受く

品切れの際は振替又は三錢切手代用にて御注文下さい

ホーカー液　ホーカー白粉液　ホーカー美髮液　ホーカースチー卜

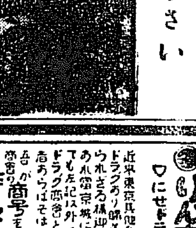
東京神田和泉橋　本舖　堀越嘉太郎商店　電話神田一四四三　一五五五　振替東京

ルーデサック　外國品　十二個入B十個六十錢　桜形一個　十五錢ヶ用一個八十錢　▲月經帶一個　七十五錢　廿個以上一割引　郵券代用一割增　送料　振替京城三二七番　京城黃金町三　山田文殊堂藥房

最新刊

第三改正日本藥局法註解　故下山順一郎　七、〇〇
改正附日政法講義總論　織田萬　二、四〇
朝鮮鑛業指針　宮崎　一、二〇
小學教育と家庭及社會　小學教育研究會　一、七〇
教育界の現狀打破　谷本富　一、六〇
日本と暹羅　大木遠吉　一、五〇
天然生活法　[illegible]　八五
三田村鳶魚著　東海道中膝栗毛輪講　定價壹圓十錢
進むべき[illegible]　一、三〇
評譯韓非子　野中元三郎　九〇
英譯不如歸　德富蘆花著　七五
解脫の妙味　[illegible]　五〇
修養百話　[illegible]　一、五〇
民事[illegible]　五五
朝鮮語受驗提要　[illegible]　四〇
法要[illegible]
大阪屋號書店

りん病ばい毒　患者諸君　Dにせドラッグあり御注意
近來東京其他各地に偽ドラッグあり時々患者を誤まられざる様當京城にもドラッグ商會と稱するものあらば全く詐欺漢なり
吾が商會の商號を盜用する詐欺漢なり
京城南大門外停車場通　花柳病專門藥房　ドラッグ商會　本部　電話二五六七番　振替京城四六七番



金泉尙州間自動車著發時刻　[illegible]
織居自動車部　金泉支部　金泉電話四八番

日本郵船出帆　大連行、太沽（天津）牛莊行　相模丸　十月三十日　高砂丸　十一月九日　三河丸　十一月廿三日　正午出帆　仁川海岸町　堀回漕部

尼崎汽船出帆　群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行　大有丸　十月廿一日後四時出　神代丸　十月廿一日後四時出　若代丸　十月廿三日後四時出　仁川　杉回漕部

共同汽船出帆　芝罘、大連行　第廿共同丸　十月廿七日午後入港　十月廿九日後十時出帆　岡波共同汽船株式會社　本町四丁目（電話一七三番）　仁川代理店　野口商會　元山代理店　田口回漕部　京城取次店　河村回漕店

大阪商船仁川出帆
神戶、大阪行　湖州丸　十月　日　後二時出
南浦行　[illegible]
安東縣行　[illegible]丸　十一月十六日後二時出
木浦、釜山、門司、長崎行　[illegible]
安東丸　十一月十九日後二時出
鎭南浦、大連行　安東丸　十月廿四日後二時出
西湖丸　十月廿七日後二時出
上海、基隆、打狗行（大連經由）　[illegible]
湖北丸　十月三十一日後四時出
切符發賣所　大阪商船會社　仁川支店　電話二〇五・五八　京城支店

釜山出帆廣告
門司、神戶、大阪行　和歌浦丸　十月三十日後五時出
立神丸　十月十九日後五時出
元山、清津、浦鹽行　十月十八日後十時出
元山、西湖、新浦、城津、清津行　十月廿九日後四時出
第三琴平丸　門司、宇品、神戶、大阪行　月　日後六時出
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　毎月二日九日十四日　午後七時出
大興丸　釜山港埋立新町　大池回漕部

朝鮮郵船仁川出帆
本社　京城黃金町　電話長一九五二・二二〇二
關門より釜山名丸經由　但し又印あるは江原道寄港せず
京畿丸　十一月四日　成鏡丸　十月三十日　平安丸　十月廿五日　忠淸丸　十月十九日　釜山發
元山より名丸經由　穩城丸　十月廿一日　鏡城丸　京城丸　元山發
鎭南浦行　平安丸　十月廿一日　元山發
釜山行　慶寶丸　十月八日決定　元山發
濟州島行　江陵丸　毎日　釜山發
木浦行　天丸　三日目毎に　木浦發
西歸浦行　[illegible]　木浦發
多島海行　慶興丸　十月廿三日　木浦發
晋州丸　十月十八日　十月廿二日　仁川發
宗信丸　十月廿三日　仁川發
錦江丸　毎日　仁川發
江原丸　十月　日　仁川發